令和６年度使用

小学校教科用図書選定資料

令和５年６月

大分県教育委員会

＊＊＊＊＊＊＊＊＊　も　く　じ　＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＜　種　目　＞	＜　掲載ページ　＞
基本方針	1
調査研究の観点	2
国　　語	3～　5
書　　写	6～　8
社　　会	9～12
地　　図	13～14
算　　数	15～19
理　　科	20～23
生　　活	24～28
音　　楽	29～30
図画工作	31～32
家　　庭	33～34
体　　育（保健領域）	35～38
道　　徳	39～42
外 国 語	43～46

※種目の掲載は、大分県教育委員会による

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

令和６年度使用教科用図書の採択に関する基本方針

１　採択権者は、その権限と責任において、主体的に採択を行うこと。

２　調査研究のための組織の構成、調査員の人選等は公正中立に行い、法令の趣旨に沿って採択の手順、手続きの適正化を図ること。

３　採択に当たっては、採択権者は教科書についての十分かつ綿密な調査研究に基づいて適正かつ公正な採択を行うこととし、宣伝等にまどわされることなく採択の適正を期すること。

４　地域の実態や自然的・文化的諸条件を考慮し、地区内の児童生徒に適した教科書の採択を行うこと。

５　採択終了後は採択結果及び採択理由等を公表するなど、採択に関する情報の公開に努め、開かれた採択を推進すること。

調査研究の観点［小学校］

教育基本法、学校教育法に示す教育の目標の達成に資するよう、調査研究にあたり、次の主眼を設定する。

1　学習指導要領に示された目標や内容に基づいて、そのねらいを達成しやすくするために、編集の上でどのような配慮がなされているか。

2　児童が、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、能動的に学び続けることができるように配慮されているか。

また、主眼に基づき全教科共通観点及び各教科独自観点を設定して調査することとし、全ての教科書を比較検討し、それぞれの特色をまとめる。

【全教科共通観点】

1　単元・題材の構成及び内容の取扱い

(1)　学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。

(2)　基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。

(3)　思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。

(4)　学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。

2　資料等

(1)　資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。

3　挿絵・図表・統計等

(1)　挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。

(2)　造本についてはどのように示されているか。

【各教科（種目）独自観点】

○　学習指導要領に示された目標に基づいた各教科（種目）独自の観点を設定する。
※各教科（種目）独自観点は、事務局が指定した日までに種目責任者が設定し、第２回教科用図書選定審議会において説明する。

【 国　　語 】　　発行者数３

１　学習指導要領に示された目標

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

⑵　日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

⑶　言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【各学年の目標】

	第１学年及び第２学年	第３学年及び第４学年	第５学年及び第６学年
知識及び技能	⑴　日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	⑴　日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	⑴　日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	⑵　順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	⑵　筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	⑵　筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	⑶　言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	⑶　言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	⑶　言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

２　教科独自の調査研究の観点

⑴　情報の扱い方に関する事項	①　文章等に含まれる情報と情報の関係を捉えて理解することについて、どのように示されているか。 ②　３学年以上において、情報の整理の仕方及びその具体的な手段について、どのようなものが示されているか。
⑵　A　話すこと・聞くこと	①　言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。 ②　発達段階や学習状況に応じたＩＣＴ機器等の音声言語を活用した指導として、どのようなものが示されているか。
⑶　B　書くこと	①　言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。 ②　文章全体の構成や書き表し方に注意して記述するための手立てとして、どのようなものが示されているか。
⑷　C　読むこと	①　言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。 ②　「読むこと」の資質・能力の育成と学校図書館活用の関連について、どのように示されているか。

【 国 語 】

観点			発行者	2 東 書	17 教 出
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。		・各学年、各領域の教材数は次のとおりである。 領域 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 話・聞 9 6 5 5 5 5 35 書く 8 7 6 6 5 5 37 読む 15 11 11 11 10 9 67 知・技 28 16 17 15 14 15 105	・各学年、各領域の教材数は次のとおりである。 領域 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 話・聞 10 5 6 6 5 6 38 書く 12 8 6 7 5 7 45 読む 20 13 11 11 12 13 80 知・技 30 20 19 18 18 18 123
		②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。		・巻末付録に「言葉の広場」として様々な語句を示すとともに、3年生以上で、「言葉の相談室」として文法や語句について取り立て学習をする場面を設定している。	・学習のてびきの中で「言葉」「言葉を増やそう」として、語句の使い方を取り上げ、読むことや書くことの学習で活用できるようにしている。
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。		・各領域の単元を、「見通す」「取り組む」「振り返る」の3ステップの学習過程となるように構成している。	・各領域の単元を、「たしかめよう」「くわしくよもう」「まとめよう」「つたえあおう」の4ステップの学習過程となるように構成している。
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。		・入門期（第1学年上巻）の工夫として、幼児期に経験した手遊びを取り入れるとともに、体を動かしたり、リズムを口ずさんだりする教材が示されている。	・入門期（第1学年上巻）の工夫として、「あいさつの言葉」（日常的なコミュニケーション）を大切にした教材が示されている。
	資料等	①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。		・巻末資料として、デジタル資料の使い方、読書教材、学習用語等が示されている。 ・二次元コードが付されている教材数 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 教材数 44 47 45 43 42 41 262 (※練習問題やデジタルノート、作者メッセージなど) ・平仮名は6月までに、漢字・片仮名は9月以降学習。 ・第2学年まで分かち書き。	・巻末資料として、古典教材、読書教材、学習用語等が示されている。 ・二次元コードが付されている教材数 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 教材数 10 13 14 16 13 15 81 (※作者メッセージや教材文関連資料など) ・平仮名は7月までに、漢字・片仮名は9月以降学習。 ・第2学年上巻まで分かち書き。
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。		・説明的文章と関連して取り上げられている図表や写真、統計資料数は次のとおりである。 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 資料数 27 32 23 19 20 15 136	・説明的文章と関連して取り上げられている図表や写真、統計資料数は次のとおりである。 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 資料数 30 27 29 24 13 22 145
		②造本については、どのように示されているか。		・B5判 1～4年 2冊（上下） 5・6年 1冊 ・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g） 1年 2年 3年 4年 5年 6年 上巻 290 300 315 315 515 520 下巻 330 315 315 300	・B5判 1～6年 2冊（上下） ・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g） 1年 2年 3年 4年 5年 6年 上巻 290 320 320 340 310 310 下巻 340 330 310 330 350 320
教科独自	情報の扱い方に関する事項	①文章等に含まれる情報と情報の関係を捉えて理解することについて、どのように示されているか。		・2学年以上において、「書くこと」単元の前に「情報のとびら」を設け、ポイントを示している。	・2学年以上において、「読むこと」「書くこと」単元の前に、情報に関する単元を設け、ポイントを示している。
		②第3学年以上において、情報の整理の仕方及び具体的な手段について、どのようなものが示されているか。		・「デジタルノートの作り方」にある二次元コードを読み取った中に、座標軸やベン図等の具体例が示されている。	・「書くこと」「話すこと・聞くこと」単元の中で、マッピングやベン図、表、座標軸等の具体例が示されている。
	A 話すこと・聞くこと	①言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。		・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1・2年 小学校のことを紹介しよう／町で見つけたことを話そう 3・4年 グループで話し合い、合言葉を決めよう／身の周りのことについて調べて報告しよう 5・6年 聞き手の印象に残るように提案しよう／ビデオメッセージで感謝を伝えよう	・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1・2年 学校ではたらく人の話を聞いて伝えよう／昔の遊びの遊び方を説明しよう 3・4年 地域の行事を調べて発表しよう／写真から読み取ったことを整理して話そう 5・6年 町じまんを推せんしよう／パネルディスカッションをしよう
		②発達段階や学習状況に応じたＩＣＴ機器等の音声言語を活用した指導として、どのようなものが示されているか。		・特徴的なＩＣＴ機器の活用 1・2年 紹介の仕方を知り、見通しをもたせる動画 3・4年 話合いの仕方を確認できる動画 5・6年 話し方の工夫がわかる動画	・特徴的なＩＣＴ機器の活用 1・2年 説明するテーマについて確認できる動画 3・4年 言葉をつなぐ話し方を確認できる動画 5・6年 自己対話の学習の見通しをもたせる動画
	B 書くこと	①言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。		・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1・2年 のりものカードを作ろう／役割をもつ物について説明する文章を書こう 3・4年 「わたし」の説明文を書こう／わたしのクラスの「生き物図鑑」を作ろう 5・6年 反対の意見を予想して書こう／発信しよう、私たちのＳＤＧｓ	・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1・2年 のりものカードで知らせよう／おもちゃの説明書を書こう 3・4年 取材したことを報告文にしよう／伝わりやすい組み立てを考えて書こう 5・6年 根拠となる資料をもとに意見文を書こう／みんなでパンフレットを作ろう
		②文章全体の構成や書き表し方に注意して記述するための手立てとして、どのようなものが示されているか。		・各単元にメモ等を活用した構成の検討や記述の整理、マッピングを用いた言葉の選択が示されている。	・各単元にメモ等を活用した構成の検討や記述の整理、マッピングを用いた言葉の選択が示されている。
	C 読むこと	①言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。		・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1・2年 話の好きなところとそのわけを伝え合おう／昔話のおもしろさを見つけて紹介しよう 3・4年 物語の仕かけの面白さを探して伝え合おう／物語のやま場をとらえ、話し合おう 5・6年 表現の工夫を見つけ、面白さを解説しよう／人物の生き方について考えよう	・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1・2年 話の好きなところとそのわけを伝え合おう／様子が伝わるように音読劇をしよう 3・4年 登場人物に手紙を書こう／登場人物の気持ちを想像して日記を書こう 5・6年 物語のやま場を見つけ、伝え合おう／生き方について自分の考えをまとめよう
		②「読むこと」の資質・能力の育成と学校図書館の関連について、どのように示されているか。		・図書館を活用した授業例 1・2年 友達になってみたい人物をカードで紹介する／昔話を探してすきなところを友達に教える 3・4年 本から発見したことを、カードで紹介する／テーマに沿って本を選びブックトークをする 5・6年 つながりのある本を探し、読書マップを作る／心に残った大切な一文とその理由を伝える	・図書館を活用した授業例 1・2年 読んだ動物の本について、カードで紹介する／心に残ったことを絵にかいて紹介する 3・4年 おすすめの本のよさをカードで紹介する／テーマに沿って本を選びブックトークをする 5・6年 推せんの方法を考え、図書推せん会をする／読書生活を振り返り読書タイムラインを作る

【 国 語 】

観点 ＼ 発行者			３８ 光 村
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・各学年、各領域の教材数は次のとおりである。 領域 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 話・聞 11 6 5 5 5 5 37 書く 11 9 8 8 7 7 50 読む 14 14 13 12 11 11 75 知・技 23 17 15 15 15 13 98
		②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・１年下以降の巻末折込「言葉の宝箱」において、人物・事物・心情を表す語句を示し、読むことや書くことの学習で活用できるようにしている。
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。	・各領域の単元を、「見通しをもつ」「問いをもつ」→「振り返る」の同じサイクルで学習が進められるように構成している。
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・入門期（第１学年上巻）の工夫として、他者と関わり合いながら学校生活に慣れ親しむことにつながる児童同士の対話場面が複数設定されている。
	資料等	①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・巻末資料として、図を用いた考えの整理の仕方、読書教材、学習用語等が示されている。 ・二次元コードが付されている教材数 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 教材数 21 12 14 12 9 12 80 （※文学作品の朗読や教材文関連資料など） ・平仮名は6月中旬までに、漢字・片仮名は9月以降学習。 ・第2学年まで分かち書き。
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。	・説明的文章と関連して取り上げられている図表や写真、統計資料数は次のとおりである。 1年 2年 3年 4年 5年 6年 合計 資料数 27 34 32 19 20 8 140
		②造本については、どのように示されているか。	・B5判 1～4年 2冊（上下） 5・6年 1冊 ・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g） 1年 2年 3年 4年 5年 6年 上巻 250 300 305 295 510 540 下巻 260 310 310 320
教科独自	情報の扱い方に関する事項	①文章等に含まれる情報と情報の関係を捉えて理解することについて、どのように示されているか。	・2学年以上において、情報に関する内容について「関係をとらえよう」「集めて整理して伝えよう」の2系列に整理して示している。
		②第3学年以上において、情報の整理の仕方及び具体的な手段についてどのようなものが示されているか。	・巻末に「図を使って考えよう」として、マッピングや座標軸の具体例が示されている。
	A 話すこと・聞くこと	①言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。	・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1･2年 クイズをつくって二人で考えよう 友達の「あったらいいな」をくわしくしろう 3･4年 お気に入りの場所を伝えよう 調べて話そう、生活調査隊 5･6年 社会問題について説得力のある提案をしよう 資料を使って、魅力的なスピーチをしよう
		②発達段階や学習状況に応じたＩＣＴ機器等の音声言語を活用した指導として、どのようなものが示されているか。	・特徴的なＩＣＴ機器の活用。 1･2年 発表の仕方を知り、見通しをもたせる動画 3･4年 話合いの仕方を確認できる動画 5･6年 話し方や発表の仕方の工夫がわかる動画
	B 書くこと	①言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。	・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1･2年 じどうしゃずかんをつくろう おもちゃのつくりかたを説明しよう 3･4年 理由や例をあげて考えを書こう 仕事の工夫を見つけて報告文を書こう 5･6年 意見文を読み合い、良いところを見つけよう おすすめのパンフレットを作ろう
		②文章全体の構成や書き表し方に注意して記述するための手立てとして、どのようなものが示されているか。	・各単元にメモ等を活用した構成の検討や記述の整理、マッピングを用いた言葉の選択が示されている。
	C 読むこと	①言語活動を通して資質・能力を育成する授業構想の例として、どのようなものが示されているか。	・特徴的な言語活動は次のとおりである。 1･2年 話の好きなところとそのわけを伝え合おう 登場人物に手紙を書こう 3･4年 登場人物について考え、伝え合おう 中心となる語や文を見つけて要約しよう 5･6年 物語の魅力を伝え合おう 登場人物の生き方について考え、話し合おう
		②「読むこと」の資質・能力の育成と学校図書館の関連についてどのように示されているか。	・図書館を活用した授業例 1･2年 昔話を読み、好きなところをカードで紹介する お気に入りの本を「紹介メモ」で紹介する 3･4年 調べたことをクイズにし、クイズ大会をする 読んだ本のよさをポップや帯で紹介する 5･6年 作家に着目して本を選び、カードで紹介する テーマに沿って本を選び、ブックトークをする

【 書　　写 】　　発行者数３

１　学習指導要領に示された目標

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
(2)　日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
(3)　言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【各学年における書写に関する事項】

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
(ｱ)	姿勢や筆記具の持ち方を正しくして書くこと。	文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。	用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書くこと。
(ｲ)	点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。	毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書くこと。
(ｳ)	点画相互の接し方や交わり方、長短や方向などに注意して、文字を正しく書くこと。	毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。	目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと。

【書写の指導における配慮事項】

(ｱ)　文字を正しく整えて書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。
(ｲ)　硬筆を使用する書写の指導は各学年で行うこと。
(ｳ)　毛筆を使用する書写の指導は第3学年以上の各学年で行い、各学年年間30単位時間程度を配当するとともに、毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導すること。
(ｴ)　第1学年及び第2学年の(3)のウの(ｲ)の指導については、適切に運筆する能力の向上につながるよう、指導を工夫すること。

２　教科独自の調査研究の観点

(1) 文字を書く基礎	①　「姿勢」や「筆記具の持ち方」、「点画の書き方」、「筆順」等の文字を正しく整えて書く基礎について、どのように示されているか。 ②　水書用筆については、どのように示されているか。
(2) 文字の集まりの書き方	①　「文字の大きさ」や「配列」等の文字相互や用紙全体との関係に注意して語句、文、文章などを書くことについて、どのように示されているか。
(3) 目的や状況に応じた書き方	①　「書く速さ」や「目的に応じた筆記具選び」等の目的や状況に応じて書き方を判断して書くことについて、どのように示されているか

【 書 写 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点 ＼ 発行者</th><th>２ 東 書</th><th>１７ 教 出</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="3">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な題材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・総ページ数と取立てページ数
<table><tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>総ページ数</td><td>49</td><td>45</td><td>57</td><td>53</td><td>53</td><td>53</td><td>310</td></tr><tr><td>硬筆の取立て</td><td>31</td><td>22</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>4</td><td>68</td></tr><tr><td>毛筆の取立て</td><td></td><td></td><td>17</td><td>14</td><td>12</td><td>12</td><td>55</td></tr></table>※「取立て」とは、文字の組立や形、配列等に注意して書く学習を示す。</td><td>・総ページ数と取立てページ数
<table><tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>総ページ数</td><td>49</td><td>41</td><td>61</td><td>61</td><td>53</td><td>53</td><td>318</td></tr><tr><td>硬筆の取立て</td><td>29</td><td>18</td><td>5</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>58</td></tr><tr><td>毛筆の取立て</td><td></td><td></td><td>19</td><td>14</td><td>13</td><td>9</td><td>55</td></tr></table>※「取立て」とは、文字の組立や形、配列等に注意して書く学習を示す。</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・「書写のかぎ」では、点画の組立や書き順等、文字を整えて書くための学習ポイントが示されている。</td><td>・「ここが大切」では、点画の組立や書き順等、文字を整えて書くための学習ポイントが示されている。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に関連付けて指導する教材数
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>9</td></tr></table>・「６年生に送る言葉を書こう」（5年）、「発表のためのポスターを書こう」（6年）等の教材がある。</td><td>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に関連付けて指導する教材数
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>4</td><td>11</td></tr></table>・「本の紹介カード」（2年）、「思い出に残る言葉を書こう」（6年）等の教材がある。</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・他教科や日常生活に関連させた教材数
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>5</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>19</td></tr></table>・「連絡帳を書こう」（2年）「インタビューメモを取ろう」（6年）等の教材がある。
・自己評価のあるページ数は、９８。</td><td>・他教科や日常生活に関連させた教材数
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>26</td></tr></table>・「お店見学のお礼状」（3年）「話し合いメモ」（6年）等の教材がある。
・自己評価のあるページ数は、８４。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>①資料・手引き等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・２次元コードが付されている数
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>18</td><td>16</td><td>21</td><td>19</td><td>17</td><td>16</td><td>107</td></tr></table>・準備や片付け、運筆（点画の書き方）、道具の持ち方などの動画がある。</td><td>・２次元コードが付されている数
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>15</td><td>6</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>14</td><td>74</td></tr></table>・毛筆道具の扱い方、運筆（点画の書き方）、道具の持ち方、左利きの毛筆用具の置き方などの動画がある。</td></tr>
<tr><td>挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・取立て指導において、書字のポイントや筆使いを示した図や写真数
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>53</td><td>39</td><td>39</td><td>22</td><td>29</td><td>16</td></tr></table></td><td>・取立て指導において、書字のポイントや筆使いを示した図や写真数
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>57</td><td>34</td><td>33</td><td>13</td><td>25</td><td>11</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・各学年の教科書の重さ(g)
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>120</td><td>110</td><td>130</td><td>120</td><td>120</td><td>120</td></tr></table></td><td>・各学年の教科書の重さ（g）
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>110</td><td>100</td><td>130</td><td>130</td><td>110</td><td>110</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="4">教科独自</td><td rowspan="2">文字を書く基礎</td><td>①「姿勢」や「筆記具の持ち方」、「点画の書き方」、「筆順」等の文字を正しく整えて書く基礎について、どのように示されているか。</td><td>・指導事項別のページ数
<table><tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr><tr><td>姿勢や筆記具の持ち方</td><td>27</td></tr><tr><td>点画の書き方</td><td>57</td></tr><tr><td>字形や文字の組立て</td><td>32</td></tr><tr><td>筆順</td><td>16</td></tr><tr><td>筆圧</td><td>4</td></tr></table>・第３～６学年でローマ字の筆順が示されている。
・「姿勢・持ち方」「点画の長さ」等の学習事項が目次で項目ごとに示されている。</td><td>・指導事項別のページ数
<table><tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr><tr><td>姿勢や筆記具の持ち方</td><td>16</td></tr><tr><td>点画の書き方</td><td>84</td></tr><tr><td>字形や文字の組立て</td><td>54</td></tr><tr><td>筆順</td><td>20</td></tr><tr><td>筆圧</td><td>17</td></tr></table>・筆圧を３段階の数値で示している。
・キャラクターの動きや「オノマトペ」で筆使いが示されている。</td></tr>
<tr><td>②水書用筆については、どのように示されているか。</td><td>・第１・２学年に水書用紙が、添付されている。</td><td>・第１・２学年に水書用紙が添付され、第１学年には、線の練習する箇所がある。</td></tr>
<tr><td>文字の集まりの書き方</td><td>①「文字の大きさ」や「配列」等の文字相互や用紙全体との関係に注意して語句、文、文章などを書くことについて、どのように示されているか。</td><td>・指導事項別のページ数
<table><tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr><tr><td>文字の大きさと配列</td><td>14</td></tr><tr><td>穂先の動きと点画のつながり</td><td>6</td></tr></table>・文字の大きさと配列では、硬筆と毛筆の両方で扱い、不適切なモデルと比較している。
・穂先の動きを朱墨、薄墨、筆の写真で示し、不適切なモデルと比較している。</td><td>・指導事項別のページ数
<table><tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr><tr><td>文字の大きさと配列</td><td>33</td></tr><tr><td>穂先の動きと点画のつながり</td><td>10</td></tr></table>・文字の大きさと配列では、硬筆と毛筆の両方で扱い、正しいモデルが示されている。
・穂先の動きを朱墨と薄墨、筆の写真で示している。</td></tr>
<tr><td>目的や状況に応じた書き方</td><td>①「書く速さ」や「目的に応じた筆記具選び」等の目的や状況に応じて書き方を判断して書くことについて、どのように示されているか。</td><td>・指導事項別のページ数
<table><tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr><tr><td>書く速さ</td><td>3</td></tr><tr><td>筆記具選び</td><td>12</td></tr></table>・書く速さについては、第６学年で扱っている。
・手書き文字を表す場面は、３例、９種類の筆記具を取り上げている。</td><td>・指導事項別のページ数
<table><tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr><tr><td>書く速さ</td><td>4</td></tr><tr><td>筆記具選び</td><td>11</td></tr></table>・書く速さについては、第５・６学年で扱っている。
・手書き文字を表す場面は、２例、１０種類の筆記具を取り上げている。</td></tr>
</table>

【 書 写 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点 ＼ 発行者</th><th>３８ 光 村</th></tr>
<tr><td rowspan="11">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な題材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・総ページ数と取立てページ数
<table>
<tr><th></th><th>１年</th><th>２年</th><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>総ページ数</td><td>49</td><td>41</td><td>65</td><td>53</td><td>49</td><td>57</td><td>314</td></tr>
<tr><td>硬筆の取立て</td><td>20</td><td>15</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>43</td></tr>
<tr><td>毛筆の取立て</td><td></td><td></td><td>20</td><td>14</td><td>10</td><td>9</td><td>53</td></tr>
</table>
※「取立て」とは、文字の組立や形、配列等に注意して書く学習を示す。</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・「たいせつ」では、点画の組立や書き順等、文字を整えて書くための学習ポイントが示されている。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域に関連付けて指導する教材数
<table>
<tr><th>１年</th><th>２年</th><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>8</td></tr>
</table>
・「リーフレットの書き方」（５年）、「パンフレットの書き方」（６年）等の教材がある。</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・他教科や日常生活に関連させた教材数
<table>
<tr><th>１年</th><th>２年</th><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>16</td></tr>
</table>
・「ＳＤＧｓブック」（４年）、「書写ブック」（６年）等の教材がある。
・自己評価のあるページ数は、６１。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>①資料・手引き等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・２次元コードが付されている数
<table>
<tr><th>１年</th><th>２年</th><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr>
<tr><td>19</td><td>20</td><td>33</td><td>28</td><td>26</td><td>24</td><td>150</td></tr>
</table>
・準備や片付け、運筆（点画の書き方）、左手で書く児童に対応した説明動画がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・取立て指導において、書字のポイントや筆使いを示した図や写真数
<table>
<tr><th>１年</th><th>２年</th><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th></tr>
<tr><td>42</td><td>41</td><td>63</td><td>23</td><td>22</td><td>15</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・各学年の教科書の重さ（ｇ）
<table>
<tr><th>１年</th><th>２年</th><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th></tr>
<tr><td>120</td><td>100</td><td>140</td><td>120</td><td>110</td><td>130</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td rowspan="7">教科独自</td><td rowspan="2">文字を書く基礎</td><td>①「姿勢」や「筆記具の持ち方」、「点画の書き方」、「筆順」等の文字を正しく整えて書く基礎について、どのように示されているか。</td><td>・指導事項別のページ数
<table>
<tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>姿勢や筆記具の持ち方</td><td>25</td></tr>
<tr><td>点画の書き方</td><td>52</td></tr>
<tr><td>字形や文字の組立て</td><td>26</td></tr>
<tr><td>筆順</td><td>15</td></tr>
<tr><td>筆圧</td><td>7</td></tr>
</table>
・筆圧を３段階の数値で示している。
・キャラクターの動きや「オノマトペ」で筆使いが示されている。</td></tr>
<tr><td>②水書用筆については、どのように示されているか。</td><td>・第１・２学年に水書用紙が添付され、第１学年には、文字を書く枠がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">文字の集まりの書き方</td><td>①「文字の大きさ」や「配列」等の文字相互や用紙全体との関係に注意して語句、文、文章などを書くことについて、どのように示されているか。</td><td>・指導事項別のページ数
<table>
<tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>文字の大きさと配列</td><td>15</td></tr>
<tr><td>穂先の動きと点画のつながり</td><td>6</td></tr>
</table>
・文字の大きさの配列では、硬筆と毛筆の両方で扱い、正しいモデルが示されている。
・穂先の動きを朱墨と薄墨、画から画へのつながりを点線で示している。</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">目的や状況に応じた書き方</td><td>①「書く速さ」や「目的に応じた筆記具選び」等の目的や状況に応じて書き方を判断して書くことについて、どのように示されているか。</td><td>・指導事項別のページ数
<table>
<tr><th>指導事項</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>書く速さ</td><td>3</td></tr>
<tr><td>筆記具選び</td><td>4</td></tr>
</table>
・書く速さについては、第５学年で扱っている。
・手書き文字を表す場面は、２例、８種類の筆記具を取り上げられている。</td></tr>
<tr><td></td><td></td></tr>
</table>

【 社　会 】　　発行者数３

１　学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

(1)　地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2)　社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

(3)　社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【各学年の目標】

	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識及び技能	(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	(1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	(1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	(1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考力　判断力　表現力等	(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。	(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

学びに向かう力、人間性等	(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。	(3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

2　教科独自の調査研究の観点

（1）第3学年 地域社会に関する学習 (身近な地域・市区町村)	①地域の安全を守る諸活動について、どの程度示されているか。 ②地域の様子の移り変わりについて、どの程度示されているか。
（2）第4学年 地域社会に関する学習 (都道府県)	①自然災害から人々の安全を守るための諸活動について、どの程度示されているか。 ②地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした人々について、どのように示されているか。
（3）第5学年 我が国の国土の地理的環境や産業に関する学習	①我が国の産業の現状や自然災害について、どの程度示されているか。 ②我が国の産業と情報との関わりについて、どのように示されているか。
（4）第6学年 我が国の政治、歴史、国際理解に関する学習	①国家及び社会の発展に大きな働きをした人々や文化遺産について、どの程度示されているか。 ②我が国と関係の深い国の生活について、どのように示されているか。

【 社 会 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>２ 東 書</th><th>１７ 教 出</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・各学年の大単元数、ページ数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>大単元</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>3</td><td>17</td></tr><tr><td>ページ</td><td>140</td><td>168</td><td>252</td><td>272</td><td>672</td></tr></table></td><td>・各学年の大単元数、ページ数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>大単元</td><td>4</td><td>6</td><td>5</td><td>3</td><td>18</td></tr><tr><td>ページ</td><td>176</td><td>216</td><td>260</td><td>296</td><td>948</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・索引に記載されている用語の数は次のとおりである。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>38</td><td>53</td><td>242</td><td>270</td><td>603</td></tr></table>・ノートや表等のまとめ方の例示数は次のとおりである。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>27</td><td>10</td><td>47</td><td>8</td><td>92</td></tr></table></td><td>・索引に記載されている用語の数は次のとおりである。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>46</td><td>56</td><td>79</td><td>292</td><td>473</td></tr></table>・ノートや表等のまとめ方の例示数は次のとおりである。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>43</td><td>31</td><td>56</td><td>22</td><td>152</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・調べたり考えたりする等の問いの数は次のとおりである。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>48</td><td>58</td><td>101</td><td>95</td><td>302</td></tr></table></td><td>・調べたり考えたりする等の問いの数は次のとおりである。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>58</td><td>70</td><td>81</td><td>104</td><td>313</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・学び方、調べ方を示した欄の数は次のとおりである。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>22</td><td>16</td><td>23</td><td>28</td><td>89</td></tr></table></td><td>・学び方、調べ方を示した欄の数は次のとおりである。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>21</td><td>19</td><td>25</td><td>26</td><td>91</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されていか。</td><td>・ICT の活用について、検索、メールでの問い合わせ、オンラインインタビュー、プレゼンテーションの場面での利用が示されている。
・二次元コードを読み取ることで資料等（写真や動画、記入可能なワークシート、クイズ）を活用したり、外部機関にアクセスしたりできる。</td><td>・ICT の活用について、検索・記録、メールでの問い合わせ、オンラインインタビュー、プレゼンテーション、意見共有、地図利用の場面での利用が示されている。
・二次元コードを読み取ることで資料等（写真や動画、ワークシート、クイズ）を活用したり、外部機関にアクセスしたりできる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・項目別資料数は次のとおりである。
<table><tr><th>地 図</th><th>年 表</th><th>統計資料</th></tr><tr><td>282</td><td>69</td><td>176</td></tr></table></td><td>・項目別資料数は次のとおりである。
<table><tr><th>地 図</th><th>年 表</th><th>統計資料</th></tr><tr><td>247</td><td>69</td><td>226</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである（g）。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th></tr><tr><td rowspan="2">280</td><td rowspan="2">350</td><td>上 220</td><td>政治・国際編 240</td></tr><tr><td>下 280</td><td>歴史編 340</td></tr></table></td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである（g）。
<table><tr><th>３年</th><th>４年</th><th>５年</th><th>６年</th></tr><tr><td>350</td><td>450</td><td>520</td><td>600</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="6">教科独自</td><td rowspan="2">第３学年
地域社会に関する学習
（身近な地域・市区町村）</td><td>①地域の安全を守る諸活動について、どの程度示されているか。</td><td>・火災や事故から地域の安全を守るための活動の数及び施設・設備の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>活動</th><th>施設・設備</th></tr><tr><td>火災</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>事故</td><td>12</td><td>12</td></tr></table></td><td>・火災や事故から地域の安全を守るための活動の数及び施設・設備の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>活動</th><th>施設・設備</th></tr><tr><td>火災</td><td>17</td><td>22</td></tr><tr><td>事故</td><td>16</td><td>17</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②地域の様子の移り変わりについて、どの程度示されているか。</td><td>・地域の様子の移り変わりに関連した項目別資料数は次のとおりである。
<table><tr><th>地図</th><th>写真・イラスト</th><th>統計資料</th></tr><tr><td>7</td><td>17</td><td>4</td></tr></table></td><td>・地域の様子の移り変わりに関連した項目別資料数は次のとおりである。
<table><tr><th>地図</th><th>写真・イラスト</th><th>統計資料</th></tr><tr><td>4</td><td>16</td><td>3</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">第４学年
地域社会に関する学習
（都道府県）</td><td>①自然災害から人々の安全を守るための諸活動について、どの程度示されているか。</td><td>・自然災害から人々の安全を守るための活動の数は次のとおりである。
<table><tr><th>地震・津波災害</th><th>風水害</th><th>火山災害</th><th>雪 害</th></tr><tr><td>7</td><td>24</td><td>5</td><td>0</td></tr></table></td><td>・自然災害から人々の安全を守るための活動の数は次のとおりである。
<table><tr><th>地震・津波災害</th><th>風水害</th><th>火山災害</th><th>雪 害</th></tr><tr><td>36</td><td>23</td><td>15</td><td>16</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした人々について、どのように示されているか。</td><td>・地域の伝統と文化は愛媛県の道後温泉・八ツ鹿おどり・新居浜太鼓おどりが示されている。また、地域の発展に尽くした人々は熊本県の通潤用水の開発に貢献した人々が示されている。</td><td>・地域の伝統と文化は徳島県の阿波踊り・阿波人形浄瑠璃が示されている。また、地域の発展に尽くした人々は埼玉県見沼の新田開発に貢献した人々が示されている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第５学年
我が国の国土の地理的環境や産業に関する学習</td><td>①我が国の産業の現状や自然災害について、どの程度示されているか。</td><td>・食料生産、工業生産、自然災害の学習で取り上げられている地域の数は次のとおりである。
<table><tr><th>食料生産</th><th>工業生産</th><th>自然災害</th></tr><tr><td>38</td><td>30</td><td>18</td></tr></table></td><td>・食料生産、工業生産、自然災害の学習で取り上げられている地域の数は次のとおりである。
<table><tr><th>食料生産</th><th>工業生産</th><th>自然災害</th></tr><tr><td>35</td><td>27</td><td>24</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②我が国の産業と情報との関わりについて、どのように示されているか。</td><td>・AI、GPS、ICT の活用やPOS システムをはじめ、販売産業でのサービス拡大やスマート農業の取組が示されている。また、発展学習として運輸・観光・医療・福祉の各産業が示されている。</td><td>・AI、GPS、ICT の活用やPOS システムをはじめ、AI カメラやオンラインツアー、医療情報ネットワークの取組が示されている。また、発展学習として情報通信技術の可能性について示されている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第６学年
我が国の政治、歴史、国際理解に関する学習</td><td>①国家及び社会の発展に大きな働きをした人々や文化遺産について、どの程度示されているか。</td><td>・我が国の歴史の発展に寄与した人々や文化遺産の事例数は次のとおりである。
<table><tr><td>国家及び社会の発展に大きな働きをした人々の数</td><td>75</td></tr><tr><td>国宝、重要文化財、世界遺産等、国家・社会の発展を象徴する文化遺産を取り上げている事例数</td><td>76</td></tr></table></td><td>・我が国の歴史の発展に寄与した人々や文化遺産の事例数は次のとおりである。
<table><tr><td>国家及び社会の発展に大きな働きをした人々の数</td><td>78</td></tr><tr><td>国宝、重要文化財、世界遺産等、国家・社会の発展を象徴する文化遺産を取り上げている事例数</td><td>54</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②我が国と関係の深い国の生活について、どのように示されているか。</td><td>・日本の関係の深い国としてアメリカ、フランス、中国、ブラジルの４カ国が取り上げられている。また、発展学習として韓国、サウジアラビアが示されている。</td><td>・日本の関係の深い国としてアメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビアの４カ国が取り上げられている。また、発展学習として韓国が示されている。</td></tr>
</table>

【 社 会 】

観点		発行者	116 日 文
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・各学年の大単元数、ページ数は次のとおりである。 3年 4年 5年 6年 合計 大単元 4 5 5 3 17 ページ 166 212 288 282 948
		②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・索引に記載されている用語の数は次のとおりである。 3年 4年 5年 6年 合計 62 89 95 366 612 ・ノートや表等のまとめ方の例示数は次のとおりである。 3年 4年 5年 6年 合計 30 16 22 26 94
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・調べたり考えたりする等の問いの数は次のとおりである。 3年 4年 5年 6年 合計 62 82 123 113 380
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・学び方、調べ方を示した欄の数は次のとおりである。 3年 4年 5年 6年 合計 33 23 19 11 86
	資料等	①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されていか。	・ICT の活用について、検索、メールでの問い合わせ、オンラインインタビュー、スライドソフト、デジタル新聞の場面での利用が示されている。 ・二次元コードを読み取ることで資料等（写真や動画、記入可能なワークシート）を活用したり、外部機関にアクセスしたりできる。
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。	・項目別資料数は次のとおりである。 地 図 年 表 統計資料 289 58 231
		②造本については、どのように示されているか。	・各学年の教科書の重さは次のとおりである（g）。 3年 4年 5年 6年 360 430 560 580
教科独自	第3学年 地域社会に関する学習（身近な地域・市区町村）	①地域の安全を守る諸活動について、どの程度示されているか。	・火災や事故から地域の安全を守るための活動の数及び施設・設備の数は次のとおりである。 活動 施設・設備 火災 19 25 事故 16 15
		②地域の様子の移り変わりについて、どの程度示されているか。	・地域の様子の移り変わりに関連した項目別資料数は次のとおりである。 地図 写真・イラスト 統計資料 5 21 8
	第4学年 地域社会に関する学習（都道府県）	①自然災害から人々の安全を守るための諸活動について、どの程度示されているか。	・自然災害から人々の安全を守るための活動の数は次のとおりである。 地震・津波災害 風水害 火山災害 雪 害 41 45 14 11
		②地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした人々について、どのように示されているか。	・地域の伝統と文化は長崎くんちが示されている。また、地域の発展に尽くした人々は栃木県の那須疎水の開発に貢献した人々が示されている。
	第5年 我が国の国土の地理的環境や産業に関する学習	①我が国の産業の現状や自然災害について、どの程度示されているか。	・食料生産、工業生産、自然災害の学習で取り上げられている地域の数は次のとおりである。 食料生産 工業生産 自然災害 39 27 19
		②我が国の産業と情報との関わりについて、どのように示されているか。	・AI、GPS、ICT の活用や気象情報をはじめ、スマート農業や観光産業、医療情報ネットワークの取組が示されている。また、発展学習としてスマートシティが示されている。
	第6学年 我が国の政治、歴史、国際理解に関する学習	①国家及び社会の発展に大きな働きをした人々や文化遺産について、どの程度示されているか。	・我が国の歴史の発展に寄与した人々や文化遺産の事例数は次のとおりである。 国家及び社会の発展に大きな働きをした人々の数 98 国宝、重要文化財、世界遺産等、国家・社会の発展を象徴する文化遺産を取り上げている事例数 60
		②我が国と関係の深い国の生活についてどのように示されているか。	・日本の関係の深い国としてアメリカ、中国、ブラジル、韓国の４カ国が取り上げられている。また、発展学習としてトルコが示されている。

【 地　図 】　発行者数２

１　学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

（1）　地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

（2）　社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。

（3）　社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【各学年の目標】

領域	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
地　図	身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の国土の地理的境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

２　教科独自の調査研究の観点

地図の活用を通して、情報を適切に調べまとめる技能	①地図から社会的事象の特色をとらえる読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。 ②社会的事象に関する情報を適切に調べ、白地図などにまとめる技能を身につけるために、どのように示されているか。

【 地 図 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点 ＼ 発行者</th><th>２ 東 書</th><th>４６ 帝 国</th></tr>
<tr><td rowspan="4">教科共通</td><td rowspan="3">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・地図等の掲載数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>日 本</th><th>世 界</th></tr><tr><td>総 ペ ー ジ 数</td><td colspan="2">１０２</td></tr><tr><td>日本（世界）全図の数</td><td>３</td><td>１</td></tr><tr><td>地方別（州別）地図の数</td><td>２４</td><td>７</td></tr><tr><td>諸 島 図 の 数</td><td>１０</td><td>０</td></tr><tr><td>地 図 数 の 合 計</td><td colspan="2">４５</td></tr><tr><td>索引に掲載されている
日本（世界）の地名数</td><td>2203</td><td>472</td></tr></table>・目的別資料・図の数は次のとおりである。
<table><tr><th>国土利用自然環境</th><th>人口交通貿易</th><th>農林水産業</th><th>鉱工業</th><th>歴史生活文化</th><th>合計</th></tr><tr><td>46</td><td>25</td><td>10</td><td>6</td><td>58</td><td>145</td></tr></table></td><td>・地図等の掲載数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>日 本</th><th>世 界</th></tr><tr><td>総 ペ ー ジ 数</td><td colspan="2">１３２</td></tr><tr><td>日本（世界）全図の数</td><td>３</td><td>１</td></tr><tr><td>地方別（州別）地図の数</td><td>３２</td><td>７</td></tr><tr><td>諸 島 図 の 数</td><td>２０</td><td>１</td></tr><tr><td>地 図 数 の 合 計</td><td colspan="2">６４</td></tr><tr><td>索引に掲載されている
日本（世界）の地名数</td><td>2160</td><td>398</td></tr></table>・目的別資料・図の数は次のとおりである。
<table><tr><th>国土利用自然環境</th><th>人口交通貿易</th><th>農林水産業</th><th>鉱工業</th><th>歴史生活文化</th><th>合計</th></tr><tr><td>49</td><td>28</td><td>28</td><td>15</td><td>89</td><td>209</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>・北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真を使って我が国の固有の領土であることに触れている。</td><td>・北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真を使って我が国の固有の領土であることに触れている。</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るため、どのような工夫がなされているか。</td><td>・「地図のきまり」「地図帳の使い方」を6ページ設定し、基礎的な見方を学ぶ構成になっている。
・導入学年である３年生に、方位や縮尺について会話や吹き出しを使って説明している。</td><td>・「地図のやくそく」「地図帳の使い方」を１０ページ設定し、基礎的な見方を学ぶ構成になっている。
・導入学年である３年生に、方位や縮尺について会話や吹き出しを使って説明している。
・「広くみわたす地図」を１０ページ設定している。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されよう、どのように示されているか。</td><td>・北海道を除き、地方別の地図の縮尺が１００万分の１に統一されている。
・「日本の自然災害」を3ページ設定し、資料が示されている。</td><td>・地方別の地図（北海道については一部）の縮尺が１００万分の１に統一されている。
・「日本の自然災害と防災」を４ページ設定し、資料や問いが示されている。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・問いや吹き出しを使い、学習の手がかりや地図を見る視点、地域の特色、確認事項が示されている。
・各項目の掲載数は次のとおりである。
<table><tr><td>学年等に応じたの問い数</td><td>７０</td></tr><tr><td>歴史に関するページ数</td><td>6</td></tr><tr><td>二次元コード数</td><td>３７</td></tr></table>・歴史に関して、世界との関わりを中心に各時代の世界地図やできごと、世界遺産が示されている。
・二次元コードから、１３７のコンテンツにアクセスできる構成になっている。</td><td>・問いや吹き出しを使い、学習の手がかりや地図を見る視点、地域の特色、確認事項が示されている。
・各項目の掲載数は次のとおりである。
<table><tr><td>学年等に応じた問い数</td><td>１００</td></tr><tr><td>歴史に関するページ数</td><td>6</td></tr><tr><td>二次元コード数</td><td>４９</td></tr></table>・歴史に関して、日本の歴史を中心に結びつきや、人々の生活、文化、できごとが示されている。
・二次元コードから、６３１のコンテンツにアクセスできる構成となっている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・「凡例、さくいん」を設定し、調べるための手順や方法が示されている。
・等高線の色分け数は、陸地の高さ最大１０、海の深さ最大７となっている。
・凡例の中で色分けや記号の説明が示されている。
・世界に関わるページの中で、アフリカの動物やヨーロッパの料理の写真が示されている。
・「世界全図と地球儀」の中で、位置を表す視点として緯度、経度について、図で示されている。</td><td>・「さくいんを使おう」を設定し、調べるための手順や方法が示されている。
・等高線の色分け数は、陸地の高さ最大７、海の深さ最大７となっている。
・凡例の中で色分けや記号の説明が示されている。
・世界に関わるページ中で、各国の生活や取組に関して資料や写真が示されている。
・「世界と地球儀」の中で、視点の違いによる地球の見方や面積の違いについて、図やグラフで示されている。</td></tr>
<tr><td>挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・統計に関するページと国旗数は次のとおりである。
<table><tr><td>日本と世界の統計ページ数</td><td>４</td></tr><tr><td>国旗数</td><td>１９７</td></tr></table>・日本の各地方の地図が、日本全体のどこに位置するか、図で示されている。
・統計資料等の掲載数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>統計資料等の数</th></tr><tr><td>写 真</td><td>６８</td></tr><tr><td>表・グラフ</td><td>３０</td></tr><tr><td>主題図（分布図）</td><td>３２</td></tr><tr><td>絵地図・鳥瞰図</td><td>９</td></tr></table></td><td>・統計に関するページと国旗数は次のとおりである。
<table><tr><td>日本と世界の統計ページ数</td><td>４</td></tr><tr><td>国旗数</td><td>１９７</td></tr></table>・日本の各地方の地図、大陸の地図が、日本全体、地球儀上のどこに位置するか、図で示されている。
・統計資料等の掲載数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>統計資料等の数</th></tr><tr><td>写 真</td><td>６７</td></tr><tr><td>表・グラフ</td><td>７１</td></tr><tr><td>主題図（分布図）</td><td>２９</td></tr><tr><td>絵地図・鳥瞰図</td><td>２２</td></tr></table></td></tr>
<tr><td></td><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・A4サイズ　重さ３４７ｇ</td><td>・A4サイズ　重さ３７２ｇ</td></tr>
<tr><td>教科独自</td><td>地図の活用を通して、情報を適切に調べまとめる技能</td><td>①地図から社会的事象の特色をとらえる読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。</td><td>・読図に関する着眼点の掲載数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>日 本</th><th>世 界</th><th>合計</th></tr><tr><td>着眼点</td><td>４０</td><td>２４</td><td>６４</td></tr></table>（着眼点とは、地図を見るときの問い）
・地図の記号は凡例として２３２示されている。</td><td>・読図に関する着眼点の掲載数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>日 本</th><th>世 界</th><th>合計</th></tr><tr><td>着眼点</td><td>５０</td><td>３３</td><td>８３</td></tr></table>（着眼点とは、地図を見るときの問い）
・地図の記号は凡例として１４８示されている。</td></tr>
<tr><td></td><td>②社会的事象に関する情報を適切に調べ、白地図などにまとめる技能を身につけるために、どのように示されているか。</td><td>・「世界全図と地球儀」を設定し、緯度、経度、方位、距離、面積等が調べられるように示されている。</td><td>・「世界と地球儀」を設定し、緯度、経度、方位、距離、面積等が調べられるように示されている。
・防災のページにおいて、防災マップづくりの手順が示されている。</td></tr>
</table>

【 算　数 】　発行者数６

１　学習指導要領に示された目標

【算数科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。

(2)　日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

(3)　数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【各学年の目標】

	第１学年	第２学年	第３学年
知識及び技能	数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の概念、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の概念、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。	数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え簡潔に表現したり考察したりする力などを養う。	数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを養う。
学びに向かう力、人間性等	数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとする態度を養う。

	第4学年	第5学年	第6学年
知識及び技能	小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	整数の性質、分数の意味、小数と分数の計算の意味、面積の公式、図形の意味と性質、図形の体積、速さ、割合、帯グラフなどについて理解するとともに、小数や分数の計算をしたり、図形の性質を調べたり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。	分数の計算の意味、文字を用いた式、図形の意味、図形の体積、比例、度数分布を表す表などについて理解するとともに、分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や体積を求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
思考力 判断力 表現力等	数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。	数とその表現や計算の意味に着目し、目的に合った表現方法を用いて数の性質や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。	数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力、身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力などを養う。
学びに向かう力 人間性等	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

2　教科独自の調査研究の観点

（1）数学的活動	事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どの程度示されているか。
（2）プログラミング教育	プログラミングを体験しながら図形を構成する要素に着目する活動について、どのように示されているか。

【 算 数 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点 ＼ 発行者</th><th>2 東 書</th><th>4 大日本</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。
<table><tr><th>学年
領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>割合(%)</th></tr><tr><td>数と計算</td><td>132</td><td>139</td><td>148</td><td>143</td><td>82</td><td>48</td><td>55.7</td></tr><tr><td>図形</td><td>10</td><td>19</td><td>26</td><td>36</td><td>83</td><td>84</td><td>20.8</td></tr><tr><td>測定・変化と関係</td><td>17</td><td>34</td><td>29</td><td>43</td><td>48</td><td>16</td><td>15.1</td></tr><tr><td>データの活用</td><td>4</td><td>4</td><td>14</td><td>20</td><td>23</td><td>40</td><td>8.4</td></tr><tr><td>合計</td><td>163</td><td>196</td><td>217</td><td>242</td><td>236</td><td>188</td><td>100</td></tr></table>・総単元数は、97である。</td><td>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。
<table><tr><th>学年
領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>割合(%)</th></tr><tr><td>数と計算</td><td>130</td><td>140</td><td>167</td><td>149</td><td>84</td><td>56</td><td>54.9</td></tr><tr><td>図形</td><td>10</td><td>19</td><td>25</td><td>42</td><td>64</td><td>34</td><td>14.7</td></tr><tr><td>測定・変化と関係</td><td>20</td><td>49</td><td>35</td><td>39</td><td>48</td><td>66</td><td>19.5</td></tr><tr><td>データの活用</td><td>5</td><td>7</td><td>21</td><td>20</td><td>54</td><td>37</td><td>10.9</td></tr><tr><td>合計</td><td>165</td><td>215</td><td>248</td><td>250</td><td>250</td><td>193</td><td>100</td></tr></table>・総単元数は、101である。</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・各学年の単元末の復習問題の総数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>55</td><td>186</td><td>218</td><td>202</td><td>187</td><td>109</td><td>957</td></tr></table></td><td>・各学年の単元末の復習問題の総数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>109</td><td>170</td><td>204</td><td>170</td><td>212</td><td>132</td><td>997</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・上記の復習問題のうち、記述で説明させる問題数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>5</td><td>10</td><td>20</td><td>17</td><td>23</td><td>15</td><td>90</td></tr></table></td><td>・上記の復習問題のうち、記述で説明させる問題数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>4</td><td>12</td><td>12</td><td>16</td><td>17</td><td>13</td><td>74</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・吹き出しで問いかけや解決のヒントが示されている。
・「めあて」と「まとめ」のマークが、それぞれ統一して示されている。</td><td>・吹き出しで問いかけや解決のヒントが示されている。
・「めあて」と「まとめ（発見・考え方）」が、それぞれ統一して示されている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引き等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・巻頭と巻中に「学び方」「ノートの書き方」を例示している。
・巻末に学んだ内容を確認するための「ふりかえりコーナー」と「補充問題」を設置している。
・単元の導入は授業の様子のイラストや日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。
・二次元コードを読み取ると、単元導入のための動画や解説動画、補充問題等につながる。</td><td>・巻頭に「学び方」「ノートの書き方」「話し方」「聞き方」を例示している。
・巻末に難易度の異なる「補充問題」を設置している。
・単元の導入は日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。
・二次元コードを読み取ると、解説動画や基礎・基本の定着問題、チャレンジ問題等につながる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・各学年で学習を補助する「イラスト・写真」を掲載しているページ数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>151</td><td>108</td><td>112</td><td>60</td><td>46</td><td>44</td><td>521</td></tr></table>・各学年で「テープ図・線分図・数直線等」を掲載しているページ数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>51</td><td>54</td><td>55</td><td>41</td><td>54</td><td>28</td><td>283</td></tr></table></td><td>・各学年で学習を補助する「イラスト・写真」を掲載しているページ数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>168</td><td>154</td><td>138</td><td>93</td><td>90</td><td>58</td><td>701</td></tr></table>・各学年で「テープ図・線分図・数直線等」を掲載しているページ数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>63</td><td>48</td><td>52</td><td>45</td><td>60</td><td>32</td><td>300</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・各学年の教科書の重さは、次のとおりである。（g）
<table><tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>上</td><td>140</td><td>230</td><td>260</td><td>260</td><td>245</td><td rowspan="2">425</td></tr><tr><td>下</td><td>225</td><td>210</td><td>220</td><td>260</td><td>240</td></tr></table>・規格　1年上巻のみA4判、その他はB5判</td><td>・各学年の教科書の重さは、次のとおりである。（g）
<table><tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>上</td><td>125</td><td rowspan="2">430</td><td rowspan="2">455</td><td rowspan="2">490</td><td rowspan="2">480</td><td rowspan="2">445</td></tr><tr><td>下</td><td>245</td></tr></table>・規格　1年上巻のみA4判、その他はB5判</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教科独自</td><td>数学的活動</td><td>①事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決する活動について、どの程度示されているか。</td><td>・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。
<table><tr><th>種類</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>計</th></tr><tr><td>算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動</td><td>76</td><td>89</td><td>101</td><td>119</td><td>97</td><td>86</td><td>568</td></tr><tr><td>日常の事象から見いだした問題を解決する活動</td><td>34</td><td>13</td><td>17</td><td>16</td><td>23</td><td>25</td><td>128</td></tr></table></td><td>・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。
<table><tr><th>種類</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>計</th></tr><tr><td>算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動</td><td>77</td><td>98</td><td>116</td><td>135</td><td>120</td><td>95</td><td>641</td></tr><tr><td>日常の事象から見いだした問題を解決する活動</td><td>36</td><td>14</td><td>14</td><td>25</td><td>23</td><td>42</td><td>154</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>プログラミング教育</td><td>①プログラミングを体験しながら図形を構成する要素に着目する活動について、どのように示されているか。</td><td>・プログラミングが扱われている学年と学習活動は、次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>学習活動</th></tr><tr><td rowspan="3">5</td><td>倍数を求める手順を考える活動</td></tr><tr><td>正多角形をかく手順を考える活動</td></tr><tr><td>6</td><td>数の並べ方を考える活動</td></tr></table></td><td>・プログラミングが扱われている学年と学習活動は、次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>学習活動</th></tr><tr><td>1</td><td>命令を組み合わせる活動</td></tr><tr><td>2</td><td>かけ算九九をつくる活動</td></tr><tr><td>3</td><td>単位交換機をつくる活動</td></tr><tr><td>4</td><td>変わり方を調べる活動</td></tr><tr><td>5</td><td>正多角形をかく活動</td></tr><tr><td>6</td><td>比例のグラフをかく活動</td></tr></table></td></tr>
</table>

【 算 数 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>１１ 学 図</th><th>１７ 教 出</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。
<table><tr><th>学年＼領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>割合(%)</th></tr><tr><td>数と計算</td><td>131</td><td>153</td><td>168</td><td>150</td><td>96</td><td>68</td><td>54.0</td></tr><tr><td>図形</td><td>8</td><td>25</td><td>33</td><td>84</td><td>101</td><td>64</td><td>22.2</td></tr><tr><td>測定・変化と関係</td><td>17</td><td>57</td><td>31</td><td>12</td><td>63</td><td>36</td><td>15.2</td></tr><tr><td>データの活用</td><td>2</td><td>11</td><td>18</td><td>28</td><td>25</td><td>38</td><td>8.6</td></tr><tr><td>合計</td><td>158</td><td>246</td><td>250</td><td>274</td><td>285</td><td>206</td><td>100</td></tr></table>・総単元数は、112である。</td><td>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。
<table><tr><th>学年＼領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>割合(%)</th></tr><tr><td>数と計算</td><td>141</td><td>138</td><td>143</td><td>126</td><td>75</td><td>51</td><td>53.9</td></tr><tr><td>図形</td><td>13</td><td>29</td><td>28</td><td>73</td><td>84</td><td>58</td><td>22.8</td></tr><tr><td>測定・変化と関係</td><td>20</td><td>33</td><td>33</td><td>18</td><td>45</td><td>34</td><td>14.7</td></tr><tr><td>データの活用</td><td>4</td><td>6</td><td>17</td><td>28</td><td>23</td><td>30</td><td>8.6</td></tr><tr><td>合計</td><td>178</td><td>206</td><td>221</td><td>245</td><td>227</td><td>173</td><td>100</td></tr></table>・総単元数は、98である。</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・各学年の単元末の復習問題の総数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>89</td><td>269</td><td>358</td><td>290</td><td>309</td><td>203</td><td>1,518</td></tr></table></td><td>・各学年の単元末の復習問題の総数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>94</td><td>252</td><td>339</td><td>328</td><td>263</td><td>240</td><td>1,516</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・上記の復習問題のうち、記述で説明させる問題数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>4</td><td>30</td><td>26</td><td>34</td><td>35</td><td>18</td><td>147</td></tr></table></td><td>・上記の復習問題のうち、記述で説明させる問題数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>2</td><td>9</td><td>14</td><td>13</td><td>5</td><td>9</td><td>52</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・吹き出しで問いかけや解決のヒントが示されている。
・「めあて」と「まとめ」のマークが、それぞれ統一して示されている。</td><td>・吹き出しで問いかけや解決のヒントが示されている。
・「課題」「深める話し合い」「まとめ」「発展的な課題」のマークが、それぞれ統一して示されている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引き等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・巻頭に「学び方」「ノートのつくり方」を例示している。
・巻頭に前学年までの考え方、巻末にその学年で身に付ける考え方を提示している。
・単元の導入は「はてな発見」として、日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。
・二次元コードを読み取ると、解説動画や補充問題、振り返り等につながる。</td><td>・巻頭に「学習の進め方」「見方・考え方」を例示し、「既習事項とのつながり」のページを設置している。
・巻末に「図のかき方」「既習事項のまとめ」を設置している。
・単元の導入は「どんな学習がはじまるかな？」として、日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。
・二次元コードを読み取ると、解説動画や補充問題、表計算ソフト等につながる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・各学年で学習を補助する「イラスト・写真」を掲載しているページ数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>142</td><td>131</td><td>129</td><td>60</td><td>70</td><td>53</td><td>585</td></tr></table>・各学年で「テープ図・線分図・数直線等」を掲載しているページ数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>55</td><td>69</td><td>67</td><td>54</td><td>63</td><td>38</td><td>346</td></tr></table></td><td>・各学年で学習を補助する「イラスト・写真」を掲載しているページ数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>176</td><td>179</td><td>173</td><td>94</td><td>94</td><td>58</td><td>774</td></tr></table>・各学年で「テープ図・線分図・数直線等」を掲載しているページ数は、次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>75</td><td>69</td><td>51</td><td>47</td><td>65</td><td>31</td><td>338</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・各学年の教科書の重さは、次のとおりである。（g）
<table><tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>上</td><td>230</td><td>335</td><td>305</td><td>330</td><td>355</td><td rowspan="2">515</td></tr><tr><td>下</td><td>240</td><td>300</td><td>365</td><td>365</td><td>380</td></tr></table>・規格　全巻AB判</td><td>・各学年の教科書の重さは、次のとおりである。（g）
<table><tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>上</td><td rowspan="2">305</td><td>255</td><td>260</td><td>295</td><td rowspan="2">500</td><td rowspan="2">460</td></tr><tr><td>下</td><td>225</td><td>245</td><td>285</td></tr></table>・規格　全巻B5判</td></tr>
<tr><td rowspan="2">教科独自</td><td>数学的活動</td><td>①事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決する活動について、どの程度示されているか。</td><td>・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。
<table><tr><th>種類</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>計</th></tr><tr><td>算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動</td><td>63</td><td>103</td><td>124</td><td>123</td><td>117</td><td>109</td><td>639</td></tr><tr><td>日常の事象から見いだした問題を解決する活動</td><td>33</td><td>16</td><td>18</td><td>21</td><td>20</td><td>20</td><td>128</td></tr></table></td><td>・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。
<table><tr><th>種類</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>計</th></tr><tr><td>算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動</td><td>63</td><td>101</td><td>132</td><td>158</td><td>122</td><td>97</td><td>673</td></tr><tr><td>日常の事象から見いだした問題を解決する活動</td><td>41</td><td>19</td><td>24</td><td>32</td><td>23</td><td>32</td><td>171</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>プログラミング教育</td><td>①プログラミングを体験しながら図形を構成する要素に着目する活動について、どのように示されているか。</td><td>・プログラミングが扱われている学年と学習活動は、次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>学習活動</th></tr><tr><td>1</td><td>命令を組み合わせて動かす活動</td></tr><tr><td>2</td><td>「ひとふでがき」の方法を考える活動</td></tr><tr><td>3</td><td>少ない指示で動かす活動</td></tr><tr><td>4</td><td>重さのちがうものをさがす活動</td></tr><tr><td>5</td><td>正多角形をかく活動</td></tr><tr><td>6</td><td>リングの移し方を考える活動</td></tr></table></td><td>・プログラミングが扱われている学年と学習活動は、次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>学習活動</th></tr><tr><td>1</td><td>10までの進み方を考える活動</td></tr><tr><td>4</td><td>ゴールまでの進み方を考える活動</td></tr><tr><td>5</td><td>正多角形をかく活動</td></tr></table></td></tr>
</table>

【 算 数 】

教科共通

単元・題材の構成及び内容の取扱い

①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。

61 啓林館

・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。

領域＼学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	割合(%)
数と計算	143	147	151	120	82	50	54.1
図形	14	26	24	68	80	54	20.8
測定・変化と関係	15	38	28	18	50	55	15.9
データの活用	2	8	18	29	24	36	9.2
合計	174	219	221	235	236	195	100

・総単元数は、107である。

116 日 文

・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。

領域＼学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	割合(%)
数と計算	150	146	151	142	82	62	56.3
図形	9	25	30	69	90	56	21.5
測定・変化と関係	16	42	32	11	39	38	13.7
データの活用	4	5	20	22	22	38	8.5
合計	179	218	233	244	233	194	100

・総単元数は、103である。

②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。

61 啓林館

・各学年の単元末の復習問題の総数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
108	127	444	373	352	260	1,664

116 日 文

・各学年の単元末の復習問題の総数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
134	316	353	298	223	173	1,497

③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。

61 啓林館

・上記の復習問題のうち、記述で説明させる問題数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
0	13	15	7	4	4	43

116 日 文

・上記の復習問題のうち、記述で説明させる問題数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
1	3	14	20	26	26	90

④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。

61 啓林館

・吹き出しで問いかけや解決のヒントが示されている。
・「めあて」と「まとめ」のマークが、それぞれ統一して示されている。

116 日 文

・吹き出しで問いかけや解決のヒントが示されている。
・「めあて」と「まとめ」のマークが、それぞれ統一して示されている。

資料等

①資料・手引き等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。

61 啓林館

・巻頭に「教科書の使い方」「学習の仕方」「ノートの使い方」を例示している。
・巻末に前学年までの既習事項の振り返りを設置している。
・単元の導入は「じゅんび」として、日常の場面から単元全体の問題設定を行っている。
・二次元コードを読み取ると、解説動画や誤答例の提示、補充問題等につながる。

116 日 文

・巻頭に「教科書の使い方」「学習の仕方」「ノートのつくり方」を例示している。
・巻末に単元別の３段階の練習問題を設置している。
・単元の始めに既習事項の確認問題、単元の後に２段階の補充問題を設置している。
・二次元コードを読み取ると、解決のヒントや解説動画、補充問題等につながる。

挿絵・図表・統計等

①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。

61 啓林館

・各学年で学習を補助する「イラスト・写真」を掲載しているページ数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
170	160	133	74	70	65	672

・各学年で「テープ図・線分図・数直線等」を掲載しているページ数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
48	50	43	33	50	26	250

116 日 文

・各学年で学習を補助する「イラスト・写真」を掲載しているページ数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
169	136	163	69	69	86	692

・各学年で「テープ図・線分図・数直線等」を掲載しているページ数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
61	47	62	49	71	59	349

②造本については、どのように示されているか。

61 啓林館

・各学年の教科書の重さは、次のとおりである。（g）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
上	160	240	260	270	450	440
下	240	245	225	225		

・規格　1年上巻のみA4判、その他はB5判

116 日 文

・各学年の教科書の重さは、次のとおりである。（g）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
上	95	285	300	290	535	480
下	255	240	250	285		

・規格　全巻B5判

教科独自

数学的活動

①事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決する活動について、どの程度示されているか。

61 啓林館

・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。

種類	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動	120	130	136	123	129	114	752
日常の事象から見いだした問題を解決する活動	48	23	23	22	20	23	159

116 日 文

・各学年の数学的活動の種類ごとの問題数は、次のとおりである。

種類	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動	76	97	134	149	116	94	666
日常の事象から見いだした問題を解決する活動	47	23	20	21	20	33	164

プログラミング教育

①プログラミングを体験しながら図形を構成する要素に着目する活動について、どのように示されているか。

61 啓林館

・プログラミングが扱われている学年と学習活動は、次のとおりである。

学年	学習活動
1	ロボットを動かす活動
2	
3	レーシングカーを動かす活動
4	人数を求める活動
5	正多角形をかく活動
6	数の倍数を見つける活動

116 日 文

・プログラミングが扱われている学年と学習活動は、次のとおりである。

学年	学習活動
1	日常の動作の順序を考える活動
2	命令を組み合わせて指示を考える活動
3	フローチャートをつくる活動
4	
5	正多角形をかく活動
6	図形を活用して絵をかく活動

【 理 科 】 発行者数６

１ 学習指導要領に示された目標

【理科の目標】

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴ 自然の事物・現象についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

⑵ 観察、実験などを行い、問題解決の力を養う。

⑶ 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う。

【各学年の目標】

	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識及び技能	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物、太陽と地面の様子についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
思考力 判断力 表現力等	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力を養う。	空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力を養う。	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きや関わり、変化及び関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。
学びに向かう力 人間性等	物の性質、風とゴムの力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路、身の回りの生物、太陽と地面の様子について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度や生物を愛護する態度を養う。	空気、水及び金属の性質、電流の働き、人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度や生物を愛護する態度を養う。	物の溶け方、振り子の運動、電流がつくる磁力、生命の連続性、流れる水の働き、気象現象の規則性について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度や生命を尊重する態度を養う。	燃焼の仕組み、水溶液の性質、てこの規則性及び電気の性質や働き、生物の体のつくりと働き、生物と環境との関わり、土地のつくりと変化、月の形の見え方と太陽との位置関係について追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度や生命を尊重する態度を養う。

２ 教科独自の調査研究の観点

⑴ プログラミング教育	自分が意図する活動を実現するために、必要な動きの組み合わせを理論的に考えるプログラミング的思考を育成することについて、学年・区分・単元・ページ数・学習活動は、どの程度示されているか。
⑵ 自然災害の取扱い	天気・川・土地の領域における自然災害や防災・減災に関する事例との関連について、学年・区分・事例数は、どの程度示されているか。
⑶ 学習過程の提示	問題を見いだし、見通しをもって調べ、その結果を表現し、問題解決する学習過程について、学年・領域数は、どの程度示されているか。
⑷ ＩＣＴ機器の活用	各単元での学習場面において、画像、動画、ワークシート、Ｗｅｂサイトリンク、ドリルなど１人１台端末を中心としたＩＣＴ機器の活用を示している学習活動は、どの程度示されているか。

【 理 科 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>2 東 書</th><th>4 大日本</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="3">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・内容区分のページ数は次のとおりである。
（A：物質・エネルギー、B：生命・地球）
<table><tr><th colspan="2">区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>区分計</th></tr><tr><td rowspan="2">A</td><td>物質</td><td>12</td><td>54</td><td>20</td><td>36</td><td>122</td><td rowspan="2">260</td></tr><tr><td>ｴﾈﾙｷﾞｰ</td><td>64</td><td>12</td><td>28</td><td>34</td><td>138</td></tr><tr><td rowspan="2">B</td><td>生命</td><td>64</td><td>52</td><td>42</td><td>50</td><td>208</td><td rowspan="2">370</td></tr><tr><td>地球</td><td>14</td><td>52</td><td>44</td><td>52</td><td>162</td></tr></table>合計630</td><td>・内容区分のページ数は次のとおりである。
（A：物質・エネルギー、B：生命・地球）
<table><tr><th colspan="2">区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>区分計</th></tr><tr><td rowspan="2">A</td><td>物質</td><td>12</td><td>68</td><td>22</td><td>34</td><td>136</td><td rowspan="2">304</td></tr><tr><td>ｴﾈﾙｷﾞｰ</td><td>78</td><td>16</td><td>34</td><td>40</td><td>168</td></tr><tr><td rowspan="2">B</td><td>生命</td><td>74</td><td>63</td><td>48</td><td>70</td><td>255</td><td rowspan="2">427</td></tr><tr><td>地球</td><td>16</td><td>58</td><td>48</td><td>50</td><td>172</td></tr></table>合計731</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・本文中に太字等で強調された用語・文の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>9</td><td>8</td><td>4</td><td>16</td><td>37</td><td rowspan="2">97</td></tr><tr><td>B</td><td>15</td><td>8</td><td>15</td><td>22</td><td>60</td></tr></table></td><td>・本文中に太字等で強調された用語・文の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>5</td><td>7</td><td>4</td><td>7</td><td>23</td><td rowspan="2">82</td></tr><tr><td>B</td><td>10</td><td>8</td><td>19</td><td>22</td><td>59</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・各学年の理科の特徴的な考え方と問題解決の視点を示した数は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>考え方の視点と問題解決の視点</th><th>数</th></tr><tr><td>3年</td><td>比較して、問題を見いだす。</td><td>26</td></tr><tr><td>4年</td><td>根拠と関係付けて、予想や仮説を発想する。</td><td>22</td></tr><tr><td>5年</td><td>条件を制御して、解決の方法を発想する。</td><td>7</td></tr><tr><td>6年</td><td>多面的に調べた結果を基に、より妥当な考えをつくりだす。</td><td>9</td></tr></table>合計64</td><td>・各学年の理科の特徴的な考え方と問題解決の視点を示した数は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>考え方の視点と問題解決の視点</th><th>数</th></tr><tr><td>3年</td><td>比較して、問題を見いだす。</td><td>29</td></tr><tr><td>4年</td><td>根拠と関係付けて、予想や仮説を発想する。</td><td>26</td></tr><tr><td>5年</td><td>条件を制御して、解決の方法を発想する。</td><td>7</td></tr><tr><td>6年</td><td>多面的に調べた結果を基に、より妥当な考えをつくりだす。</td><td>11</td></tr></table>合計73</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・巻頭ページに「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」等の理科の学び方を示している。
・各単元開始ページの左下の囲み部分に、関連する他学年の学習内容を表示している。
・各単元末に、その単元での既習事項から新しい問いを設定している。</td><td>・巻頭ページに「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」等の理科の学び方を示している。
・各単元開始ページに学び方のポイントや関連する自然事象の写真を表示している。
・各単元末に、既習事項と日常生活を関連させた問いを設定している。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・科学史、最新の科学技術等の読み物・コラム等の参考資料の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>9</td><td>10</td><td>6</td><td>10</td><td>35</td><td rowspan="2">80</td></tr><tr><td>B</td><td>6</td><td>16</td><td>11</td><td>12</td><td>45</td></tr></table></td><td>・科学史、最新の科学技術等の読み物・コラム等の参考資料の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>23</td><td>11</td><td>11</td><td>22</td><td>67</td><td rowspan="2">137</td></tr><tr><td>B</td><td>14</td><td>16</td><td>20</td><td>20</td><td>70</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・図・表・グラフ・写真を用いて実験、観察の結果を示している単元の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>6</td><td>6</td><td>3</td><td>4</td><td>19</td><td rowspan="2">46</td></tr><tr><td>B</td><td>7</td><td>10</td><td>5</td><td>5</td><td>27</td></tr></table></td><td>・図・表・グラフ・写真を用いて実験、観察の結果を示している単元の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>3</td><td>5</td><td>3</td><td>4</td><td>15</td><td rowspan="2">51</td></tr><tr><td>B</td><td>11</td><td>11</td><td>7</td><td>7</td><td>36</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・教科書の重さとサイズは次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>重さ(g)</td><td>393</td><td>436</td><td>374</td><td>439</td></tr><tr><td>サイズ</td><td colspan="4">A4判</td></tr></table></td><td>・教科書の重さとサイズは次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>重さ(g)</td><td>464</td><td>517</td><td>448</td><td>525</td></tr><tr><td>サイズ</td><td colspan="4">A4判</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="4">教科独自</td><td>プログラミング教育</td><td>自分が意図する活動を実現するために、必要な動きの組み合わせを理論的に考えるプログラミング的思考を育成することについて、学年・区分・単元・ページ数・学習活動は、どの程度示されているか。</td><td>・プログラミングの内容が示されている学年・区分・単元・ページ数・学習活動は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>6年</th></tr><tr><td>区分</td><td>エネルギー</td><td>地球</td><td>生命</td><td>エネルギー</td><td>地球</td></tr><tr><td>単元</td><td>電気の通り道/じしゃくの性質</td><td>天気と気温</td><td>植物の発芽と成長</td><td>電気と私たちのくらし</td><td>変わり続ける大地</td></tr><tr><td>ページ数</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>1</td></tr><tr><td>学習活動</td><td>電気を通す物を調べる仕組みを考える。</td><td>熱中しょうをふせぐための工夫と仕組みを考える。</td><td>スマート農業の工夫と仕組みを考える。</td><td>人感センサーをつかって発光ダイオードを光らせる。</td><td>地震の災害を減らす工夫と仕組みを考える。</td></tr></table></td><td>・プログラミングの内容が示されている学年・区分・単元・ページ数・学習活動は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th colspan="2">4年</th><th>6年</th></tr><tr><td>区分</td><td colspan="2">物質</td><td>エネルギー</td></tr><tr><td>単元</td><td colspan="2">ものの温度と体積</td><td>私たちの生活と電気</td></tr><tr><td>ページ数</td><td colspan="2">1</td><td>5</td></tr><tr><td>学習活動</td><td colspan="2">バイメタルスイッチの仕組みを考える。</td><td>明るさセンサーを使って、暗いときだけ明かりがつくようになるプログラミングを考える。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>自然災害の取扱い</td><td>天気・川・土地の領域における自然災害や防災・減災に関する事例との関連について、学年・区分・事例数は、どの程度示されているか。</td><td>・自然災害や防災・減災に関する事例が示されている学年・区分と事例数は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>区分</td><td>エネルギー</td><td>地球</td><td>地球</td><td>地球</td></tr><tr><td>事例数</td><td>2</td><td>1</td><td>5</td><td>7</td></tr></table></td><td>・自然災害や防災・減災に関する事例が示されている学年・区分と事例数は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>区分</td><td>エネルギー</td><td>物質/地球</td><td>地球</td><td>地球</td></tr><tr><td>事例数</td><td>2</td><td>1/1</td><td>6</td><td>3</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>学習過程の提示</td><td>問題を見いだし、見通しをもって調べ、その結果を表現し、問題解決する学習過程について、学年・領域数は、どの程度示されているか。</td><td>・実験・観察を通して問題解決を図る学習場面の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>14</td><td>14</td><td>10</td><td>16</td><td>54</td><td rowspan="2">116</td></tr><tr><td>B</td><td>18</td><td>19</td><td>13</td><td>12</td><td>62</td></tr></table></td><td>・実験・観察を通して問題解決を図る学習場面の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>12</td><td>14</td><td>11</td><td>16</td><td>53</td><td rowspan="2">124</td></tr><tr><td>B</td><td>17</td><td>25</td><td>16</td><td>13</td><td>71</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ機器の活用</td><td>各単元での学習場面において、画像、動画、ワークシート、Ｗｅｂサイトリンク、ドリルなど1人1台端末を中心としたＩＣＴ機器の活用を示している学習活動は、どの程度示されているか。</td><td>・二次元コードからつながる画像、動画、ワークシート等のコンテンツ数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>50</td><td>40</td><td>36</td><td>48</td><td>174</td><td rowspan="2">453</td></tr><tr><td>B</td><td>55</td><td>82</td><td>74</td><td>68</td><td>279</td></tr></table></td><td>・二次元コードからつながる画像、動画、ワークシート等のコンテンツ数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>134</td><td>94</td><td>103</td><td>131</td><td>462</td><td rowspan="2">930</td></tr><tr><td>B</td><td>137</td><td>144</td><td>84</td><td>103</td><td>468</td></tr></table></td></tr>
</table>

【 理 科 】

観点			発行者	１１　学図	１７　教出
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。		・内容区分のページ数は次のとおりである。 （A：物質・エネルギー、B：生命・地球） 区分 3年 4年 5年 6年 小計 区分計 A 物質 9 56 18 44 127 293 A ｴﾈﾙｷﾞｰ 72 16 32 46 166 B 生命 62 46 48 68 224 408 B 地球 16 62 56 50 184 合計７０１	・内容区分のページ数は次のとおりである。 （A：物質・エネルギー、B：生命・地球） 区分 3年 4年 5年 6年 小計 区分計 A 物質 12 64 26 36 138 296 A ｴﾈﾙｷﾞｰ 68 16 34 40 158 B 生命 70 54 70 78 272 450 B 地球 14 68 52 44 178 合計７４６
		②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような工夫がなされているか。		・本文中に太字等で強調された用語・文の数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 8 9 8 22 47 133 B 14 13 26 33 86	・本文中に太字等で強調された用語・文の数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 6 10 17 17 50 90 B 17 5 3 15 40
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。		・各学年の理科の特徴的な考え方と問題解決の視点を示した数は次のとおりである。 学年 考え方の視点と問題解決の視点 数 3年 比較して、問題を見いだす。 32 4年 根拠と関係付けて、予想や仮説を発想する。 24 5年 条件を制御して、解決の方法を発想する。 7 6年 多面的に調べた結果を基に、より妥当な考えをつくりだす。 17 合計８０	・各学年の理科の特徴的な考え方と問題解決の視点を示した数は次のとおりである。 学年 考え方の視点と問題解決の視点 数 3年 比較して、問題を見いだす。 28 4年 根拠と関係付けて、予想や仮説を発想する。 33 5年 条件を制御して、解決の方法を発想する。 9 6年 多面的に調べた結果を基に、より妥当な考えをつくりだす。 11 合計８１
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。		・巻頭ページに「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」等の理科の学び方を示している。 ・各単元開始ページの左下の囲み部分に、関連する他学年の学習内容を表示している。 ・各単元末に、既習事項をもとに説明を求める問いを設定している。	・巻頭ページに「見つけよう」「予想しよう」「計画しよう」「結果から考えよう」「学びを広げよう」等の理科の学び方を示している。 ・各単元開始ページの左下の囲み部分に、関連する他学年の学習内容を表示している。 ・問題解決の後に、既習事項をもとに日常生活から新たな疑問の場面を設定している。
	資料等	①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。		・科学史、最新の科学技術等の読み物・コラム等の参考資料の数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 6 11 9 8 34 105 B 6 17 19 29 71	・科学史、最新の科学技術等の読み物・コラム等の参考資料の数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 10 6 14 10 40 135 B 16 23 24 32 95
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。		・図・表・グラフ・写真を用いて実験、観察の結果を示している単元の数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 7 5 3 4 19 56 B 9 11 9 8 37	・図・表・グラフ・写真を用いて実験、観察の結果を示している単元の数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 6 5 3 4 18 48 B 7 12 6 5 30
		②造本については、どのように示されているか。		・教科書の重さとサイズは次のとおりである。 学年 3年 4年 5年 6年 重さ(g) 427 473 447 533 サイズ AB判	・教科書の重さとサイズは次のとおりである。 学年 3年 4年 5年 6年 重さ(g) 418 498 451 482 サイズ AB＋天地２０mm判
教科独自	プログラミング教育	自分が意図する活動を実現するために、必要な動きの組み合わせを理論的に考えるプログラミング的思考を育成することについて、学年・区分・単元・ページ数・学習活動は、どの程度示されているか。		・プログラミングの内容が示されている学年・区分・単元・ページ数・学習活動は次のとおりである。 学年 6年 区分 エネルギー 単元 電気とわたしたちの生活 ページ数 6 学習活動 ＬＥＤを点滅させるプログラムについて考え、作ってみる。	・プログラミングの内容が示されている学年・区分・単元・ページ数・学習活動は次のとおりである。 学年 6年 区分 エネルギー 単元 電気の利用 ページ数 5 学習活動 「明かりが１回ついて消える」プログラム、「暗くなると明かりがつき、明るくなると明かりが消える」プログラムをつくってみる。
	自然災害の取扱い	天気・川・土地の領域における自然災害や防災・減災に関する事例との関連について、学年・区分・事例数は、どの程度示されているか。		・自然災害や防災・減災に関する事例が示されている学年・区分と事例数は次のとおりである。 学年 3年 4年 5年 6年 区分 エネルギー エネルギー 地球 地球 事例数 1 1 9 6	・自然災害や防災・減災に関する事例が示されている学年・区分と事例数は次のとおりである。 学年 3年 4年 5年 6年 区分 地球 地球 地球 事例数 0 1 3 3
	学習過程の提示	問題を見いだし、見通しをもって調べ、その結果を表現し、問題解決する学習過程について、学年・領域数は、どの程度示されているか。		・実験・観察を通して問題解決を図る学習場面の数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 12 16 9 16 53 125 B 25 19 13 15 72	・実験・観察を通して問題解決を図る学習場面の数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 15 20 15 12 62 147 B 24 28 22 11 85
	ＩＣＴ機器の活用	各単元での学習場面において、画像、動画、ワークシート、Ｗｅｂサイトリンク、ドリルなど１人１台端末を中心としたＩＣＴ機器の活用を示している学習活動は、どの程度示されているか。		・二次元コードからつながる画像、動画、ワークシート等のコンテンツ数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 37 48 32 52 169 437 B 68 71 55 74 268	・二次元コードからつながる画像、動画、ワークシート等のコンテンツ数は次のとおりである。 区分 3年 4年 5年 6年 小計 計 A 1 1 4 11 17 144 B 24 27 39 37 127

【 理 科 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>２６　信教</th><th>６１　啓林館</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・内容区分のページ数は次のとおりである。
（A：物質・エネルギー、B：生命・地球）
<table><tr><th colspan="2">区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>区分計</th></tr><tr><td rowspan="2">A</td><td>物質</td><td>１０</td><td>５６</td><td>１８</td><td>３０</td><td>114</td><td rowspan="2">２７６</td></tr><tr><td>ｴﾈﾙｷﾞｰ</td><td>６８</td><td>１６</td><td>３４</td><td>４４</td><td>162</td></tr><tr><td rowspan="2">B</td><td>生命</td><td>５２</td><td>６０</td><td>５２</td><td>６３</td><td>227</td><td rowspan="2">３７０</td></tr><tr><td>地球</td><td>１８</td><td>４５</td><td>４０</td><td>４０</td><td>143</td></tr></table>合計６４６</td><td>・内容区分のページ数は次のとおりである。
（A：物質・エネルギー、B：生命・地球）
<table><tr><th colspan="2">区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>区分計</th></tr><tr><td rowspan="2">A</td><td>物質</td><td>１０</td><td>５４</td><td>２２</td><td>３６</td><td>122</td><td rowspan="2">２７０</td></tr><tr><td>ｴﾈﾙｷﾞｰ</td><td>６６</td><td>１２</td><td>３２</td><td>３８</td><td>148</td></tr><tr><td rowspan="2">B</td><td>生命</td><td>６２</td><td>５４</td><td>６２</td><td>７４</td><td>252</td><td rowspan="2">４０４</td></tr><tr><td>地球</td><td>１８</td><td>５０</td><td>４４</td><td>４０</td><td>152</td></tr></table>合計６７４</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・本文中に太字等で強調された用語・文の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>5</td><td>１０</td><td>4</td><td>8</td><td>２７</td><td rowspan="2">68</td></tr><tr><td>B</td><td>9</td><td>2</td><td>１３</td><td>１７</td><td>４１</td></tr></table></td><td>・本文中に太字等で強調された用語・文の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>7</td><td>１０</td><td>5</td><td>8</td><td>３０</td><td rowspan="2">90</td></tr><tr><td>B</td><td>１２</td><td>9</td><td>１７</td><td>２２</td><td>６０</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・各学年の理科の特徴的な考え方と問題解決の視点を示した数は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>考え方の視点と問題解決の視点</th><th>数</th></tr><tr><td>3年</td><td>比較して、問題を見いだす。</td><td>25</td></tr><tr><td>4年</td><td>根拠と関係付けて、予想や仮説を発想する。</td><td>32</td></tr><tr><td>5年</td><td>条件を制御して、解決の方法を発想する。</td><td>7</td></tr><tr><td>6年</td><td>多面的に調べた結果を基に、より妥当な考えをつくりだす。</td><td>3</td></tr></table>合計６７</td><td>・各学年の理科の特徴的な考え方と問題解決の視点を示した数は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>考え方の視点と問題解決の視点</th><th>数</th></tr><tr><td>3年</td><td>比較して、問題を見いだす。</td><td>30</td></tr><tr><td>4年</td><td>根拠と関係付けて、予想や仮説を発想する。</td><td>22</td></tr><tr><td>5年</td><td>条件を制御して、解決の方法を発想する。</td><td>8</td></tr><tr><td>6年</td><td>多面的に調べた結果を基に、より妥当な考えをつくりだす。</td><td>17</td></tr></table>合計７７</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・巻頭ページに「問題を見つけよう」「調べよう」「まとめよう」等の理科の学び方を示している。
・各単元開始ページの隅に、関連する既習の単元名、関連写真、調べることを表示している。
・各単元末に、その単元での既習事項から新しい実験や観察を紹介している。</td><td>・巻頭ページに「見つける」「調べる」「まとめる」等の理科の学び方を示している。
・各単元開始ページに、探究目標や関連する自然事象を表示している。
・各単元末に、既習事項と関連した日常生活での事象を紹介している。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・科学史、最新の科学技術等の読み物・コラム等の参考資料の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>１２</td><td>6</td><td>7</td><td>１０</td><td>３５</td><td rowspan="2">121</td></tr><tr><td>B</td><td>１３</td><td>２６</td><td>２５</td><td>２２</td><td>８６</td></tr></table></td><td>・科学史、最新の科学技術等の読み物・コラム等の参考資料の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>１２</td><td>１４</td><td>5</td><td>１４</td><td>４５</td><td rowspan="2">114</td></tr><tr><td>B</td><td>１２</td><td>１８</td><td>１６</td><td>２３</td><td>６９</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・図・表・グラフ・写真を用いて実験、観察の結果を示している単元の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>8</td><td>5</td><td>3</td><td>4</td><td>２０</td><td rowspan="2">51</td></tr><tr><td>B</td><td>6</td><td>１１</td><td>8</td><td>6</td><td>３１</td></tr></table></td><td>・図・表・グラフ・写真を用いて実験、観察の結果を示している単元の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>6</td><td>5</td><td>3</td><td>4</td><td>１８</td><td rowspan="2">50</td></tr><tr><td>B</td><td>8</td><td>１２</td><td>6</td><td>6</td><td>３２</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・教科書の重さとサイズは次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>重さ(g)</td><td>３９５</td><td>４５６</td><td>３７５</td><td>４４６</td></tr><tr><td>サイズ</td><td colspan="4">AB判</td></tr></table></td><td>・教科書の重さとサイズは次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>重さ(g)</td><td>３９６</td><td>３９９</td><td>３８４</td><td>４２９</td></tr><tr><td>サイズ</td><td colspan="4">AB判</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="4">教科独自</td><td>プログラミング教育</td><td>自分が意図する活動を実現するために、必要な動きの組み合わせを理論的に考えるプログラミング的思考を育成することについて、学年・区分・単元・ページ数・学習活動は、どの程度示されているか。</td><td>・プログラミングの内容が示されている学年・区分・単元・ページ数・学習活動は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><td>6年</td></tr><tr><th>区分</th><td>エネルギー</td></tr><tr><th>単元</th><td>電気の利用</td></tr><tr><th>ページ数</th><td>4</td></tr><tr><th>学習活動</th><td>人感センサー付き照明器具を参考にして、人がいるときだけ明かりがつく装置を作るには、どのようなプログラムを作ればいいかを考える。</td></tr></table></td><td>・プログラミングの内容が示されている学年・区分・単元・ページ数・学習活動は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><th>区分</th><td>エネルギー</td><td>エネルギー</td><td>生命</td><td>地球</td></tr><tr><th>単元</th><td>風とゴムの力のはたらき</td><td>もののあたたまり方</td><td>植物の発芽と成長</td><td>発電と電気の利用</td></tr><tr><th>ページ数</th><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>5</td></tr><tr><th>学習活動</th><td>コンピュータに指示をして、車をゴールぴったりにとめられるように動作させる。</td><td>コンピュータに指示をして、気球が無事に南の島に辿り着くように動作させる。</td><td>それぞれの季節に適した水やりの条件を、シミュレーションで考える。</td><td>必要なときだけ明かりがつくように、「条件」と「動作」を組み合わせるプログラムを考える。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>自然災害の取扱い</td><td>天気・川・土地の領域における自然災害や防災・減災に関する事例との関連について、学年・区分・事例数は、どの程度示されているか。</td><td>・自然災害や防災・減災に関する事例が示されている学年・区分と事例数は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><th>区分</th><td>エネルギー</td><td>地球</td><td>地球</td><td>地球</td></tr><tr><th>事例数</th><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td></tr></table></td><td>・自然災害や防災・減災に関する事例が示されている学年・区分と事例数は次のとおりである。
<table><tr><th>学年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><th>区分</th><td>地球</td><td>地球</td><td>地球</td><td>地球</td></tr><tr><th>事例数</th><td>2</td><td>1</td><td>6</td><td>6</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>学習過程の提示</td><td>問題を見いだし、見通しをもって調べ、その結果を表現し、問題解決する学習過程について、学年・領域数は、どの程度示されているか。</td><td>・実験・観察を通して問題解決を図る学習場面の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>２０</td><td>３１</td><td>１３</td><td>２８</td><td>９２</td><td rowspan="2">203</td></tr><tr><td>B</td><td>２２</td><td>３０</td><td>２６</td><td>３３</td><td>111</td></tr></table></td><td>・実験・観察を通して問題解決を図る学習場面の数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>１１</td><td>１５</td><td>１１</td><td>１４</td><td>５１</td><td rowspan="2">110</td></tr><tr><td>B</td><td>１５</td><td>１８</td><td>１５</td><td>１１</td><td>５９</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ機器の活用</td><td>各単元での学習場面において、画像、動画、ワークシート、Ｗｅｂサイトリンク、ドリルなど1人1台端末を中心としたＩＣＴ機器の活用を示している学習活動は、どの程度示されているか。</td><td>・二次元コードからつながる画像、動画、ワークシート等のコンテンツ数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>１６</td><td>２１</td><td>１３</td><td>１５</td><td>６５</td><td rowspan="2">236</td></tr><tr><td>B</td><td>２０</td><td>４１</td><td>５３</td><td>５７</td><td>171</td></tr></table></td><td>・二次元コードからつながる画像、動画、ワークシート等のコンテンツ数は次のとおりである。
<table><tr><th>区分</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>小計</th><th>計</th></tr><tr><td>A</td><td>２５</td><td>２０</td><td>２４</td><td>３９</td><td>108</td><td rowspan="2">310</td></tr><tr><td>B</td><td>３８</td><td>３８</td><td>７０</td><td>５６</td><td>202</td></tr></table></td></tr>
</table>

【 生　　活 】　　発行者数７

１　学習指導要領に示された目標

【生活科の目標】

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

（２）　身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。

（３）　身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

【各学年の目標】

	第1学年及び第2学年
（１）学校、家庭及び地域の生活に関する内容	(1) 学校、家庭及び地域の生活に関わることを通して、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりについて考えることができ、それらのよさやすばらしさ、自分との関わりに気付き、地域に愛着をもち自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりするようにする。
（２）身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容	(2) 身近な人々、社会及び自然と触れ合ったり関わったりすることを通して、それらを工夫したり楽しんだりすることができ、活動のよさや大切さに気付き、自分たちの遊びや生活をよりよくするようにする。
（３）自分自身の生活や成長に関する内容	(3) 自分自身を見つめることを通して、自分の生活や成長、身近な人々の支えについて考えることができ、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活するようにする。

２　教科独自の調査研究の観点

（1）生命の尊さを実感する学習活動や安全教育	①　動植物の継続的な飼育・栽培について、成長の様子や変化に気付くようにするために、どのように示されているか。 ②　健康で安全な生活を営むことについての内容が、どのように示されているか。
（２）多様な人々との触れ合い	①　幼稚園等の幼児と小学校児童の交流活動の例は、どのように示されているか。 ②　具体的な活動や体験の中で、多様な人々と関わったり触れ合ったりすることが、どのように示されているか。
（３）ＩＣＴ機器の活用	①　児童の発達の段階や特性、生活科の特質に応じたＩＣＴ機器の活用の方法について、どのように示されているか。

【 生 活 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>2 東 書</th><th>4 大日本</th></tr>
<tr><td rowspan="8">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・単元数、上下巻のページ数、別冊ページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>単元数</th><th>上下巻ページ数</th><th>別冊ページ数</th></tr><tr><td>１８</td><td>２５０</td><td>なし</td></tr></table></td><td>・単元数、上下巻のページ数、別冊ページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>単元数</th><th>上下巻ページ数</th><th>別冊ページ数</th></tr><tr><td>１０</td><td>２６２</td><td>なし</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、一日の生活リズム、公共の乗り物の使い方、言葉遣い、電話のかけ方が示されている。</td><td>・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、安全な暮らし、病気の予防、公共施設の使い方、言葉遣い、掃除の仕方が示されている。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・「見付ける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」学習活動が上下巻の合計で４７ページ示されている。
表現方法は次の１５種類が示されている。
新聞、カード、地図、手紙、パンフレット、動画、絵本、ランキング、巻物、招待状、ポスター、劇、デジタルアルバム、デジタル紙芝居、デジタル図鑑</td><td>・「見付ける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」学習活動が上下巻の合計で２８ページ示されている。
表現方法は次の１３種類が示されている。
新聞、カード、ペープサート、地図、絵日記、手紙、付箋、動画、作文、紙芝居、図鑑、スタンプラリービンゴ、パンフレット</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・活動の「めあて」や「課題」が「がっこうたんけんをしよう」や「なにがみつかるかな」等で示されている。</td><td>・活動の「めあて」や「課題」が、キャラクターの言葉で「おきにいりをみつけよう」や「もっとききたいことは、なにかな」等で示されている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・単元末ごとに「生きものずかん」や「なつのあそびずかん」等が上下巻の合計で５２ページある。
資料には、季節ごとの生き物や季節ごとのあそび方が示されている。
・二次元コードは上下巻の合計で７６個あり、読み込むと学校で使う場所の紹介動画や生き物のクイズ等につながる。</td><td>・単元末や巻末に「がくしゅうのどうぐばこ」のページが上下巻の合計で２７ページある。
資料には、手紙の出し方や話し合い方や発表の仕方が示されている。
・二次元コードは上下巻の合計で８５個あり、読み込むと挿絵に描かれているものの写真や活動前の約束の動画等につながる。</td></tr>
<tr><td>挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・上下巻の写真、挿絵、児童の作品数は次のとおりである。
<table><tr><th>写真</th><th>挿絵</th><th>児童の作品数</th></tr><tr><td>５８２</td><td>５９６</td><td>１０２</td></tr></table></td><td>・上下巻の写真、挿絵、児童の作品数は次のとおりである。
<table><tr><th>写真</th><th>挿絵</th><th>児童の作品数</th></tr><tr><td>５７９</td><td>９２７</td><td>９９</td></tr></table></td></tr>
<tr><td></td><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・A判
・上下巻の教科書の重さは次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>３４６ ｇ</td><td>３１２ ｇ</td></tr></table></td><td>・A判
・上下巻の教科書の重さは次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>３３８ ｇ</td><td>３１０ ｇ</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="6">教科独自</td><td rowspan="2">生命の尊さを実感する学習活動や安全教育</td><td>①動植物の継続的な飼育・栽培について、成長の様子や変化に気付くようにするために、どのように示されているか。</td><td>・上下巻に登場する動植物の種類は次のとおりである。
<table><tr><th>動物の種類</th><th>植物の種類</th></tr><tr><td>５４</td><td>３４</td></tr></table>飼育活動は、上巻ではバッタ中心、下巻ではアゲハを中心とした活動が示されている。
栽培活動は、上巻ではアサガオ中心、下巻ではミニトマトやキュウリを中心とした活動が示されている。
・飼育・栽培を扱っているページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>２２</td><td>２４</td></tr></table></td><td>・上下巻に登場する動植物の種類は次のとおりである。
<table><tr><th>動物の種類</th><th>植物の種類</th></tr><tr><td>５５</td><td>４１</td></tr></table>飼育活動は、上巻ではコオロギやバッタ中心、下巻ではダンゴムシやカマキリを中心とした活動が示されている。
栽培活動は、上巻ではアサガオ中心、下巻ではキュウリやナスを中心とした活動が示されている。
・飼育・栽培を扱っているページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>２６</td><td>２５</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②健康で安全な生活を営むことについての内容が、どのように示されているか。</td><td>・健康・安全に関わる約束や働きかけが示されたページは２１ページ。</td><td>・健康・安全に関わる約束や働きかけが示されたページは１２ページ。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">多様な人々との触れ合い</td><td>①幼稚園等の幼児と小学校児童の交流活動の例は、どのように示されているか。</td><td>・幼児と児童の交流活動については上巻「もうすぐ２年生」の単元で8ページ取り扱われている。
主な活動は、学校案内や一緒に遊ぶ活動、ランドセルを使ってみる活動、勉強を教える活動が示されている。</td><td>・幼児と児童の交流活動については上巻「もうすぐ２年生」の単元で2ページ取り扱われている。
主な活動は、学校の紹介、学校案内図と手紙を渡す活動、アサガオの種を渡す活動、入学式の教室飾り付ける活動が示されている。</td></tr>
<tr><td>②具体的な活動や体験の中で、多様な人々と関わったり触れ合ったりすることが、どのように示されているか。</td><td>・外国人、高齢者、障がい者、乳幼児、職業人等の多様な人々との関わりや触れ合いについては、上下巻で合計９５ページ示されている。</td><td>・障がい者、乳幼児、家族、職業人等の多様な人々との関わりや触れ合いについては、上下巻で合計９１ページ示されている。</td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ機器の活用</td><td>①児童の発達の段階や特性、生活科の特質に応じたＩＣＴ機器の活用の方法について、どのように示されているか。</td><td>・ICT機器は上下巻で次の４種類が示されている。
タブレット端末、電子黒板、パソコン、ファクシミリ
・巻末の「かつどうべんりてちょう」にタブレット端末の使い方が示されている。</td><td>・ICT機器は上下巻で次の３種類が示されている。
タブレット端末、電子黒板、パソコン
・巻末の「がくしゅうどうぐばこ」に、タブレット端末の使い方が示されている。</td></tr>
</table>

【 生 活 】

<table>
<tr><th colspan="2">観点＼発行者</th><th>１１ 学 図</th><th>１７ 教 出</th></tr>
<tr><td rowspan="8">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・単元数、上下巻のページ数、別冊ページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>単元数</th><th>上下巻ページ数</th><th>別冊ページ数</th></tr><tr><td>１６</td><td>２６６</td><td>なし</td></tr></table></td><td>・単元数、上下巻のページ数、別冊ページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>単元数</th><th>上下巻ページ数</th><th>別冊ページ数</th></tr><tr><td>１５</td><td>２５８</td><td>なし</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、衛生、遊びの場所とルール、あいさつ、道具の使い方が示されている。</td><td>・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、あいさつ、道具の整理整頓、ごみの分別、手紙の書き方、電話のかけ方が示されている。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・「見付ける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」学習活動が上下巻の合計で３８ページ示されている。
表現方法の例は次の１４種類が示されている。
新聞、カード、ペープサート、地図、作文、手紙、絵葉書、パンフレット、巻物、劇、新聞ポスター、付箋、お話やクイズ、紙芝居</td><td>・「見付ける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」学習活動が上下巻の合計で２８ページ示されている。
表現方法の例は次の１０種類が示されている。
新聞、カード、地図、作文、招待状、手紙、動画、ポスター、クイズ、紙芝居</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・活動の「めあて」や「課題」が「みつけたはるであそぼう」や「もっとみつけたいな」等で示されている。</td><td>・活動の「めあて」や「課題」が「生きものをかってみよう」や「どんなうごきであそべるかな」等で示されている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・単元末や巻末に「ものしりノート」等のページが上下巻の合計で２７ページある。
資料には、草の種類や電車、バスの乗り方が示されている。
・二次元コードは上下巻の合計で５５個あり、読み込むと動物や植物の写真や手作りおもちゃの作り方動画等につながる。</td><td>・単元末や巻末に「学びのぽけっと」のページが上下巻の合計で４４ページある。
資料には、生き物の育て方やSDGｓの取り組みが示されている。
・二次元コードは上下巻の合計で６０個あり、読み込むと行事に関わる人のインタビュー動画やワークシート等につながる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・上下巻の写真、挿絵、児童の作品数は次のとおりである。
<table><tr><th>写真</th><th>挿絵</th><th>児童の作品数</th></tr><tr><td>６７６</td><td>６６５</td><td>１８３</td></tr></table></td><td>・上下巻の写真、挿絵、児童の作品数は次のとおりである。
<table><tr><th>写真</th><th>挿絵</th><th>児童の作品数</th></tr><tr><td>８８２</td><td>５７１</td><td>１０６</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・ＡＢ判
・上下巻の教科書の重さは次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>３５４ ｇ</td><td>３３３ ｇ</td></tr></table></td><td>・Ａ判
・上下巻の教科書の重さは次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>３１７ ｇ</td><td>３１４ ｇ</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="6">教科独自</td><td rowspan="2">生命の尊さを実感する学習活動や安全教育</td><td>①動植物の継続的な飼育・栽培について、成長の様子や変化に気付くようにするために、どのように示されているか。</td><td>・上下巻に登場する動植物の種類は次のとおりである。
<table><tr><th>動物の種類</th><th>植物の種類</th></tr><tr><td>６７</td><td>１０４</td></tr></table>飼育活動は、上巻ではモルモットやバッタ中心、下巻ではダンゴムシを中心とした活動が示されている。
栽培活動は、上巻ではアサガオ中心、下巻ではミニトマトを中心とした活動が示されている。
・飼育・栽培を扱っているページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>３４</td><td>４０</td></tr></table></td><td>・上下巻に登場する動植物の種類は次のとおりである。
<table><tr><th>動物の種類</th><th>植物の種類</th></tr><tr><td>６６</td><td>６２</td></tr></table>飼育活動は、上巻ではモルモットやダンゴムシ中心、下巻ではヤゴやバッタを中心とした活動が示されている。
栽培活動は、上巻ではアサガオ中心、下巻ではミニトマトを中心とした活動が示されている。
・飼育・栽培を扱っているページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>２６</td><td>３０</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②健康で安全な生活を営むことについての内容が、どのように示されているか。</td><td>・健康・安全に関わる約束や働きかけが示されたページは１４ページ。</td><td>・健康・安全に関わる約束や働きかけが示されたページは１１ページ。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">多様な人々との触れ合い</td><td>①幼稚園等の幼児と小学校児童の交流活動の例は、どのように示されているか。</td><td>・幼児と児童の交流活動については上巻「もうすぐ２年生」の単元で２ページ取り扱われている。
主な活動は、学校地図やメダルを渡す活動、ランドセルを使ってみる活動、入学式の教室を飾り付ける活動が示されている。</td><td>・幼児と児童の交流活動については上巻「もうすぐ２年生」の単元で５ページ取り扱われている。
主な活動は、学校案内、できるようになったことを紹介する活動、ランドセルを使ってみる活動、教科書を一緒に見る活動が示されている。</td></tr>
<tr><td>②具体的な活動や体験の中で、多様な人々と関わったり触れ合ったりすることが、どのように示されているか。</td><td>・高齢者、障がい者、乳幼児、家族、職業人等の多様な人々との関わりや触れ合いについては、上下巻で合計６０ページ示されている。</td><td>・外国人、高齢者、障がい者、乳幼児、家族、職業人等の多様な人々との関わりや触れ合いについては、上下巻で合計９８ページ示されている。</td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ機器の活用</td><td>①児童の発達の段階や特性、生活科の特質に応じたＩＣＴ機器の活用の方法について、どのように示されているか。</td><td>・ICT機器は上下巻で次の５種類が示されている。
タブレット端末、デジタルカメラ、電子黒板、パソコン、書画カメラ
巻末の「まなびかたずかん」にタブレット端末や書画カメラの使い方が示されている。</td><td>・ICT機器は上下巻で次の６種類が示されている。
タブレット端末、デジタルカメラ、電子黒板、パソコン、書画カメラ、プロジェクタ
巻末の「まなびのぽけっと」にタブレット端末やパソコン、プロジェクタの使い方が示されている。</td></tr>
</table>

【 生 活 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>２６ 信 教</th><th>３８ 光 村</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・単元数、上下巻のページ数、別冊ページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>単元数</th><th>上下巻ページ数</th><th>別冊ページ数</th></tr><tr><td>３０</td><td>２３２</td><td>なし</td></tr></table></td><td>・単元数、上下巻のページ数、別冊ページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>単元数</th><th>上下巻ページ数</th><th>別冊ページ数</th></tr><tr><td>１８</td><td>２１０</td><td>４６</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、安全な暮らし、道具の整理整頓、手作りおもちゃの作り方が示されている。</td><td>・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、安全な暮らし、道具の整理整頓、あいさつ、言葉遣い、道具の使い方、掃除の仕方が示されている。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・「見付ける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」学習活動が上下巻の合計で２３ページ示されている。
表現方法の例は次の１０種類が示されている。
カード、絵、絵日記、巻物、アルバム、かるた、手紙、作文、絵本、紙芝居</td><td>・「見付ける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」学習活動が上下巻の合計で６０ページ示されている。
表現方法の例は次の１１種類が示されている。
新聞、カード、地図、ランキング、すごろく、ポスター、絵本、巻物、パンフレット、紙芝居、スライドショー</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・活動の「めあて」や「課題」が「どんなふねにしようかな」「なかよしになりたいな」等で示されている。</td><td>・活動の「めあて」や「課題」が「なつをみつけよう」や「どうすれば元気にそだつかな」等で示されている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・巻末資料なし。</td><td>・単元末や巻末に「ひろがるせいかつずかん」や「はるのなかま」等のページが上下巻の合計で５２ページある。資料には、植物の生長や季節ごとの生き物が示されている。</td></tr>
<tr><td></td><td>・二次元コードの数は上下巻の合計で2個あり、読み込むと単元ごとに掲載されている植物や動物の写真等につながる。</td><td>・二次元コードは上下巻の合計で２４個あり、読み込むとICT機器を使うときの約束や学習動画サイトにつながる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・上下巻の写真、挿絵、児童の作品数は次のとおりである。
<table><tr><th>写真</th><th>挿絵</th><th>児童の作品数</th></tr><tr><td>４９９</td><td>３２２</td><td>５６</td></tr></table></td><td>・上下巻の写真、挿絵、児童の作品数は次のとおりである。
<table><tr><th>写真</th><th>挿絵</th><th>児童の作品数</th></tr><tr><td>９３４</td><td>２４５</td><td>１１２</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・AB判
・上下巻の教科書の重さは次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>３１１ ｇ</td><td>２６１ ｇ</td></tr></table></td><td>・A判
・上下巻の教科書の重さは次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>４０１ ｇ</td><td>３３４ ｇ</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="4">教科独自</td><td rowspan="2">生命の尊さを実感する学習活動や安全教育</td><td>①動植物の継続的な飼育・栽培について、成長の様子や変化に気付くようにするために、どのように示されているか。</td><td>・上下巻に登場する動植物の種類は次のとおりである。
<table><tr><th>動物の種類</th><th>植物の種類</th></tr><tr><td>２７</td><td>１２</td></tr></table>飼育活動は、上下巻ともヤギを中心とした活動が示されている。
栽培活動は、上巻ではアサガオ中心、下巻ではダイズを中心とした活動が示されている。
・飼育・栽培を扱っているページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>１６</td><td>２６</td></tr></table></td><td>・上下巻に登場する動植物の種類は次のとおりである。
<table><tr><th>動物の種類</th><th>植物の種類</th></tr><tr><td>７４</td><td>６６</td></tr></table>飼育活動は、上巻ではモルモット中心、下巻ではアゲハを中心とした活動が示されている。
栽培活動は、上巻ではアサガオ中心、下巻ではミニトマトを中心とした活動が示されている。
・飼育・栽培を扱っているページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>上巻</th><th>下巻</th></tr><tr><td>２２</td><td>２０</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②健康で安全な生活を営むことについての内容が、どのように示されているか。</td><td>・健康・安全に関わる約束や働きかけが示されたページは３ページ</td><td>・健康・安全に関わる約束や働きかけが示されたページは１４ページ</td></tr>
<tr><td>多様な人々との触れ合い</td><td>①幼稚園等の幼児と小学校児童の交流活動の例は、どのように示されているか。</td><td>・幼児と児童の交流活動については上巻「もうすぐ2年生」の単元で1ページ取り扱われている。
幼児と児童が一緒に遊ぶ写真が示されている。</td><td>・幼児と児童の交流活動については上巻「もうすぐ2年生」の単元で7ページ取り扱われている。
主な活動は、メダル渡す活動、一緒に遊ぶ活動、折り紙を一緒に折る活動、入学式の教室を飾り付ける活動が示されている。</td></tr>
<tr><td></td><td>②具体的な活動や体験の中で、多様な人々と関わったり触れ合ったりすることが、どのように示されているか。</td><td>・高齢者、障がい者、乳幼児、職業人等の多様な人々との関わりや触れ合いについては、上下巻で合計１０９ページ示されている。</td><td>・高齢者、障がい者、乳幼児、職業人等の多様な人々との関わりや触れ合いについては、上下巻で合計１１９ページ示されている。</td></tr>
<tr><td>ＩＣＴ機器の活用</td><td>①児童の発達の段階や特性、生活科の特質に応じたＩＣＴ機器の活用の方法について、どのように示されているか。</td><td>・ICT機器は上下巻で次の１種類が示されている。
タブレット端末</td><td>・ICT機器は上下巻で次の６種類が示されている。
タブレット端末、デジタルカメラ、電子黒板、テレビ、電話、ファクシミリ
巻末に、タブレット端末やデジタルカメラの使い方が示されている。</td></tr>
</table>

【 生 活 】

観点		発行者	６１　啓林館
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・単元数、上下巻のページ数、別冊ページ数は次のとおりである。 単元数：１６ 上下巻ページ数：２５６ 別冊ページ数：２４
		②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・生活上必要な習慣や技能を身に付けることを意図して、病気の予防、交通安全、あいさつ、インタビューでの言葉遣い、道具の使い方が示されている。
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・「見付ける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」「工夫する」学習活動が上下巻の合計で４８ページ示されている。 表現方法の例は次の１７種類が示されている。 新聞、カード、地図、手紙、招待状、作文、説明文、かるた、クイズ、紙芝居、動画、すごろく、巻物、劇、ランキング、俳句、パンフレット
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・活動の「めあて」や「課題」が「じぶんでおもちゃをつくってみよう」や「みんなにおしえてあげたいな」等で示されている。
	資料等	①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・単元末や巻末に「がくしゅうずかん」や「びっくりずかん」等のページが上下巻の合計で６４ページある。 資料には、道具の使い方や季節ごとの行事や食べ物が示されている。 ・二次元コードは上下巻の合計で５２個あり、読み込むと地域ごとに親しまれている野菜や季節ごとの音等につながる。
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	・上下巻の写真、挿絵、児童の作品数は次のとおりである。 写真：８６４ 挿絵：７００ 児童の作品数：１２５
		②造本については、どのように示されているか。	・ＡＢ判 ・上下巻の教科書の重さは次のとおりである。 上巻：３２１ ｇ 下巻：２８６ ｇ
教科独自	生命の尊さを実感する学習活動や安全教育	①動植物の継続的な飼育・栽培について、成長の様子や変化に気付くようにするために、どのように示されているか。	・上下巻に登場する動植物の種類は次のとおりである。 動物の種類：１１０ 植物の種類：４９ 飼育活動は、上巻ではモルモットやバッタ中心、下巻ではオタマジャクシを中心とした活動が示されている。 栽培活動は、上巻ではアサガオ中心、下巻ではミニトマトやナスを中心とした活動が示されている。 ・飼育・栽培を扱っているページ数は次のとおりである。 上巻：２８ 下巻：３０
		②健康で安全な生活を営むことについての内容が、どのように示されているか。	・健康・安全に関わる約束や働きかけが示されたページは１０ページ。
	多様な人々との触れ合い	①幼稚園等の幼児と小学校児童の交流活動の例は、どのように示されているか。	・幼児と児童の交流活動については上巻「もうすぐ２年生」の単元で４ページ取り扱われている。 主な活動は、学校案内、一緒に遊ぶ活動、できるようになったことを紹介する活動、ランドセルを使ってみる活動が示されている。
		②具体的な活動や体験の中で、多様な人々と関わったり触れ合ったりすることが、どのように示されているか。	・外国人、高齢者、障がい者、乳幼児、家族、職業人等の多様な人々との関わりや触れ合いについては、上下巻で合計９８ページ示されている。
	ＩＣＴ機器の活用	①児童の発達の段階や特性、生活科の特質に応じたＩＣＴ機器の活用の方法について、どのように示されているか。	・ICT機器は上下巻で次の３種類が示されている。 タブレット端末、デジタルカメラ、テレビ 巻末の「がくしゅうずかん」にタブレット端末の使い方が示されている。

【 音　楽 】　発行者数２

１　学習指導要領に示された目標

【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)　曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

(2)　音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。

(3)　音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。

【各学年の目標】

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
知識及び技能	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。
思考力　判断力　表現力等	音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
学びに向かう力　人間性等	楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

２　教科独自の調査研究の観点

（1）表現の能力	①　曲の表現を工夫し、思いや意図をもって歌うことについて、どのように示されているか。 ②　曲の表現を工夫し、思いや意図をもって演奏することについて、どのように示されているか。 ③　創造性を発揮しながら自分にとって価値のある音や音楽をつくることについて、どのように示されているか。
（2）鑑賞の能力	①　曲や演奏のよさなどを見いだし、曲を全体にわたって味わって聴くことについて、どのように示されているか。

【 音 楽 】

観点			発行者	17 教出	27 教芸
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。		・題材数及び領域別の教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 題材数 8 8 8 8 8 8 48 A表現 53 50 54 44 43 39 283 B鑑賞 13 13 12 14 11 15 78	・題材数及び領域別の教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 題材数 10 10 9 9 8 7 53 A表現 38 35 39 38 29 30 209 B鑑賞 12 15 7 13 12 11 70
		②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような工夫がなされているか。		・歌唱、器楽分野について、教材曲と関連して歌い方・遊び方・奏法・運指が写真及びイラストで示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌唱 6 12 8 4 2 2 34 器楽 11 10 7 4 2 3 37	・歌唱、器楽分野について、教材曲と関連して歌い方・遊び方・奏法・運指が写真及びイラストで示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌唱 3 7 3 2 2 0 17 器楽 0 10 7 2 2 1 22
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。		・聴きとったこと、感じ取ったこと、思いや意図、楽曲の魅力を記入する活動が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌唱 0 0 0 0 0 0 0 器楽 1 0 0 0 0 0 1 音楽づくり 1 2 1 1 1 0 6 鑑賞 0 1 1 1 1 0 4	・聴きとったこと、感じ取ったこと、思いや意図、楽曲の魅力を記入する活動が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌唱 0 1 0 0 0 1 2 器楽 0 1 0 0 0 1 2 音楽づくり 1 0 0 1 1 2 5 鑑賞 0 0 1 1 0 2 4
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。		・学習のめあてや目標が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌唱 14 18 11 13 11 8 75 器楽 5 6 12 6 7 6 42 音楽づくり 6 5 6 5 3 2 27 鑑賞 7 8 7 9 6 7 44	・学習のめあてや目標が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌唱 17 20 10 13 11 9 80 器楽 13 10 10 7 5 3 48 音楽づくり 4 4 3 3 2 2 18 鑑賞 10 9 5 6 5 4 39
	資料等	①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。		・2次元ｺｰﾄﾞからつながるｺﾝﾃﾝﾂ数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 A表現 8 12 21 19 11 11 82 B鑑賞 8 12 14 9 24 10 77 ＜資料は巻末に示されている＞ ・「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」で示すとともに、低中学年は発達段階に応じた表記、高学年は要素と楽譜を関連させた表記で示している。 ・1年生から4年生までは、その学年で扱う楽器を「楽器図鑑」として示している。 ・2年生以上は「音楽を表すいろいろな言葉」として、言語活動に生かすための言葉の例が示されている。 ・巻末曲集「音楽ランド」で示している教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌唱 17 9 5 8 6 9 54 器楽 1 2 5 3 3 5 19	・2次元ｺｰﾄﾞからつながるｺﾝﾃﾝﾂ数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 A表現 32 60 71 42 42 32 279 B鑑賞 6 7 27 18 14 14 86 ・2次元コードは、全て奇数ページ右上に示されている。 ＜資料は巻末に示されている＞ ・「音楽を形づくっている要素」やその学年で扱う楽器を、「ふり返りのページ」にまとめて示している。 ・6年生は鑑賞資料として「いろいろな音楽（参考曲）」や「オーケストラ」「日本の古典芸能」を示している。 ・巻末曲集「みんなで楽しく」で示している教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌唱 0 7 7 9 6 8 37 器楽 0 0 4 4 3 5 16
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等、はどのように示されているか。		・写真及びｲﾗｽﾄで掲載している楽器数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 写真 12 14 20 13 23 10 92 ｲﾗｽﾄ 0 2 0 0 0 13 15	・写真及びｲﾗｽﾄで掲載している楽器数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 写真 7 13 5 28 18 23 94 ｲﾗｽﾄ 7 8 11 7 15 7 55
		②造本については、どのように示されているか。		・各学年の教科書の重さは次のとおりである。(g) 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 平均 重さ 180 180 185 190 190 190 186	・各学年の教科書の重さは次のとおりである。(g) 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 平均 重さ 170 175 180 180 180 180 178
教科独自	表現の能力	①曲の表現を工夫し、思いや意図をもって歌うことについて、どのように示されているか。		・歌唱曲数及び表現を工夫する要素（リズム・速度・強弱等）が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 曲数 40 34 28 29 29 25 185 要素 13 14 9 9 11 6 62	・歌唱曲数及び表現を工夫する要素（リズム・速度・強弱等）が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 曲数 21 19 20 22 19 20 121 要素 17 21 11 13 11 10 83
		②曲の表現を工夫し、思いや意図をもって演奏することについて、どのように示されているか。		・器楽曲数及び表現を工夫する要素（リズム・速度・強弱等）が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 曲数 7 9 19 10 11 11 67 要素 1 4 6 4 4 5 24	・器楽曲数及び表現を工夫する要素（リズム・速度・強弱等）が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 曲数 13 12 16 13 8 8 70 要素 12 10 12 8 5 3 50
		③創造性を発揮しながら自分にとって価値のある音や音楽をつくることについて、どのように示されているか。		・音楽づくりの教材数及び表現を工夫する要素（リズム・速度・強弱等）が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 教材数 6 7 7 5 3 3 31 要素 5 6 3 4 3 2 23	・音楽づくりの教材数及び表現を工夫する要素（リズム・速度・強弱等）が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 教材数 4 4 3 3 2 2 18 要素 4 4 3 3 2 2 18
	鑑賞の能力	①曲や演奏のよさなどを見いだし、曲を全体にわたって味わって聴くことについて、どのように示されているか。		・鑑賞領域の教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌曲 3 1 6 0 3 4 17 器楽曲 10 12 5 5 6 11 49 その他 0 0 1 9 2 0 12 計 13 13 12 14 11 15 78 ・上記の教材のうち、聴き取る視点、感じ取る視点（アドバイス・ヒント）が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 教材数 11 7 5 9 11 4 47 ＜その他＞ ※民謡は、日本・諸外国を含む 5年：民謡2 4年：ﾐｭｰｼﾞｶﾙ5、民謡1、祭りばやし2、歌劇1 3年：民謡1	・鑑賞領域の教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 歌曲 6 3 0 0 4 3 16 器楽曲 6 6 6 9 5 8 40 その他 0 6 1 4 3 0 14 計 12 15 7 13 12 11 70 ・上記の教材のうち、聴き取る視点、感じ取る視点（アドバイス・ヒント）が示されている教材数は次のとおりである。 学年 1年 2年 3年 4年 5年 6年 計 教材数 12 15 6 9 9 11 62 ＜その他＞ ※民謡は、日本・諸外国を含む 5年：民謡3　4年：歌劇1、民謡3 3年：祭りばやし1　2年：民謡4、わらべうた2

【　図画工作　】　発行者数２

１　学習指導要領に示された目標

【図画工作科の目標】

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。

（２）造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（３）つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

【各学年の目標】

	第１学年及び第２学年	第３学年及び第４学年	第５学年及び第６学年
知識及び技能	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	(2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	(2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	(3) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。	(3) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。	(3) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
〔共通事項〕	ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気づくこと。 イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	ア 自分の感覚や行為を通して、形や色の感じが分かること。 イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。	ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。 イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

２　教科独自の調査研究の観点

（１）表現領域	①造形遊び 材料や場所などの特徴を捉え、造形遊びを楽しむ活動について、どのように示されているか。 ②絵や立体、工作 表したいことに合わせて表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばす活動について、どのように示されているか。
（２）鑑賞領域	①高学年の鑑賞の対象に位置づけられた生活の中の造形について学習を深める活動は、どのように示されているか。 ②我が国や諸外国の親しみある美術作品、生活の中の造形などを鑑賞する活動について、どのように示されているか

【　図画工作　】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>9　開隆堂</th><th>116　日　文</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・表現領域の「造形遊び」と「絵や立体、工作」、鑑賞領域の題材の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>造形遊び</td><td>8</td><td>6</td><td>4</td><td>18</td></tr><tr><td>絵や立体、工作</td><td>36</td><td>36</td><td>33</td><td>105</td></tr><tr><td>鑑賞</td><td>8</td><td>12</td><td>17</td><td>37</td></tr></table></td><td>・表現領域の「造形遊び」と「絵や立体、工作」、鑑賞領域の題材の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>造形遊び</td><td>9</td><td>6</td><td>4</td><td>19</td></tr><tr><td>絵や立体、工作</td><td>32</td><td>32</td><td>36</td><td>100</td></tr><tr><td>鑑賞</td><td>7</td><td>9</td><td>6</td><td>22</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・造形的な視点（色・形）についての記述の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>色・形について</td><td>109</td><td>64</td><td>53</td><td>226</td></tr></table>・用具や材料の扱い方や安全指導に関する図版の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>用具材料の扱い</td><td>85</td><td>60</td><td>63</td><td>208</td></tr><tr><td>安全指導</td><td>4</td><td>6</td><td>4</td><td>14</td></tr></table></td><td>・造形的な視点（色・形）についての記述の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>色・形について</td><td>66</td><td>62</td><td>86</td><td>214</td></tr></table>・用具や材料の扱い方や安全指導に関する図版の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>用具材料の扱い</td><td>93</td><td>75</td><td>61</td><td>229</td></tr><tr><td>安全指導</td><td>8</td><td>5</td><td>6</td><td>19</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・発想の手がかりとなる思ったことや、感じたことを言葉で表現している例示の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>175</td><td>142</td><td>111</td><td>428</td></tr></table>・タブレット端末での作品制作の例示の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>11</td></tr></table></td><td>・発想の手がかりとなる思ったことや、感じたことを言葉で表現している例示の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>196</td><td>237</td><td>255</td><td>688</td></tr></table>・タブレット端末での作品制作の例示の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>0</td><td>1</td><td>5</td><td>6</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>学習の流れがわかる紙面のレイアウトの特徴は次のとおりである。
・制作の流れを細分化し、児童が制作している写真などを使って制作の工程を示している。
・「3つの資質・能力」を、3つのキャラクターで表し、活動のヒントや考え方を示している。</td><td>学習の流れがわかる紙面のレイアウトの特徴は次のとおりである。
・1つの題材に対して、写真や参考作品の資料、発想の手がかりになる記述や図版が複数掲載されている。
・表現と鑑賞を関連させる発問や、鑑賞の視点を示している。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引き等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・2次元コードからつながる動画等のデジタルコンテンツの資料の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>作品360度</td><td>8</td><td>5</td><td>11</td><td>24</td></tr><tr><td>用具や技法
制作過程等</td><td>65</td><td>65</td><td>59</td><td>189</td></tr></table>その他のコンテンツ
・「はじめに」（題材の見通しを持つ導入時の動画）
・「作品」（立体作品の展示の様子や動かし方の動画）</td><td>・2次元コードからつながる動画等のデジタルコンテンツの資料の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>作品360度</td><td>21</td><td>46</td><td>38</td><td>105</td></tr><tr><td>用具や技法
制作過程等</td><td>46</td><td>84</td><td>88</td><td>218</td></tr></table>その他のコンテンツ
・「みんなの図工ギャラリー」（小学生が制作した作品の画像1300点以上）
・「KOMAKOMA×日文」（アニメーション制作アプリ）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・掲載している図版の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>造形遊び</td><td>62</td><td>54</td><td>42</td><td>158</td></tr><tr><td>絵や立体、工作</td><td>374</td><td>282</td><td>285</td><td>941</td></tr><tr><td>鑑賞</td><td>45</td><td>75</td><td>125</td><td>245</td></tr></table></td><td>・掲載している図版の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>造形遊び</td><td>93</td><td>58</td><td>52</td><td>203</td></tr><tr><td>絵や立体、工作</td><td>324</td><td>298</td><td>336</td><td>958</td></tr><tr><td>鑑賞</td><td>79</td><td>62</td><td>62</td><td>203</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th></tr><tr><td>上</td><td>248</td><td>248</td><td>248</td></tr><tr><td>下</td><td>248</td><td>248</td><td>260</td></tr></table></td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th></tr><tr><td>上</td><td>233</td><td>233</td><td>245</td></tr><tr><td>下</td><td>233</td><td>233</td><td>245</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="3">教科独自</td><td rowspan="2">表現領域</td><td>①造形遊び
材料や場所などの特徴を捉え、造形遊びを楽しむ活動について、どのように示されているか。</td><td>・造形遊びの材料の数と場所の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>材料</td><td>20</td><td>14</td><td>14</td><td>48</td></tr><tr><td>場所</td><td>5</td><td>8</td><td>8</td><td>21</td></tr></table>・材料の例（葉など自然物・ひも・透明容器　等）
・場所の例（グラウンド・校舎内・公園　等）</td><td>・造形遊びの材料の数と場所の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>材料</td><td>24</td><td>25</td><td>17</td><td>66</td></tr><tr><td>場所</td><td>5</td><td>5</td><td>9</td><td>19</td></tr></table>・材料の例（葉など自然物・ひも・段ボール　等）
・場所の例（グラウンド・校舎内・体育館　等）</td></tr>
<tr><td>②絵や立体、工作
表したいことに合わせて表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばす活動について、どのように示されているか。</td><td>・作品作りの過程を表した図版の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>計</th></tr><tr><td>8</td><td>6</td><td>6</td><td>20</td></tr></table></td><td>・作品作りの過程を表した図版の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>計</th></tr><tr><td>9</td><td>7</td><td>7</td><td>23</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>鑑賞領域</td><td>①高学年の鑑賞の対象に位置づけられた生活の中の造形について学習を深める活動は、どのように示されているか。</td><td>・「生活の中の造形」を鑑賞対象としている題材の数は4、図版の数は１０。</td><td>・「生活の中の造形」を鑑賞対象としている題材の数は3、図版の数は２４。</td></tr>
<tr><td></td><td>②我が国や諸外国の親しみある美術作品、生活の中の造形などを鑑賞する活動について、どのように示されているか。</td><td>・児童の作品、国内の美術作品、海外の美術作品の図版の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>計</th></tr><tr><td>児童作品</td><td>200</td><td>219</td><td>222</td><td>641</td></tr><tr><td>国内作品</td><td>5</td><td>12</td><td>17</td><td>34</td></tr><tr><td>海外作品</td><td>0</td><td>9</td><td>14</td><td>23</td></tr></table>・鑑賞の仕方には、次のような例が示されている。
「作品のよさを紹介したり、伝え合ったりする活動」
（実際に見合う・オンラインで離れた場所）
「素材に触れたり作品で遊んだりしてよさを感じる活動」
「制作途中で見合い、助言し合い、その後の制作に生かす活動」</td><td>・児童の作品、国内の美術作品、海外の美術作品の図版の数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>1・2年</th><th>3・4年</th><th>5・6年</th><th>計</th></tr><tr><td>児童作品</td><td>182</td><td>172</td><td>246</td><td>600</td></tr><tr><td>国内作品</td><td>7</td><td>15</td><td>39</td><td>61</td></tr><tr><td>海外作品</td><td>0</td><td>7</td><td>7</td><td>14</td></tr></table>・鑑賞の仕方には、次のような例が示されている。
「作品を見たり、作品で遊んだりしてよさを伝え合う活動」
「アートカードなどを使って感じ取ったことを伝え合う活動」
「制作中に自分の作品を確かめ、その後の制作に生かす活動」</td></tr>
</table>

【 家　庭 】　発行者数２

１　学習指導要領に示された目標

【家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（2）日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。

（3）家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

２　教科独自の調査研究の観点

（1）家族・家庭生活	①第５学年最初の学習「自分の成長を自覚し、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くこと」について、どのように示されているか。 ②異なる世代の人々（幼児又は低学年の児童や高齢者など）との関わりについて、どのように示されているか。
（2）衣食住の生活	①食事の役割がわかり、食事の大切さと食事の仕方について理解できるよう、栄養及び献立について、どのように示されているか。 ②日常生活で使用するものを入れる袋などの製作について、どのように示されているか。 ③季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方についてどのように示されているか。
（3）消費生活・環境	①買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、ものや金銭の大切さと計画的な使い方に関することについて、どのように示されているか。

【 家 庭 】

観点			発行者 2 東 書	9 開隆堂
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・総ページは１４９で、題材数は以下のとおりである。 5年 6年 計 家族・家庭生活 2 2 4 衣食住の生活 5 5 １０ 消費生活・環境 1 0 1	・総ページは１３５で、題材数は以下のとおりである。 5年 6年 計 家族・家庭生活 3 2 5 衣食住の生活 7 6 １３ 消費生活・環境 2 1 3
		②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・太文字で示した重要語句数は、１１６。 ・調理・製作の手順を示している数は以下のとおりである。 5年 6年 計 調理 5 １０ １５ 製作 6 2 8	・太文字で示した重要語句数は、８４。 ・調理・製作の手順を示している数は以下のとおりである。 5年 6年 計 調理 １１ 5 １６ 製作 6 4 １０
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・課題を解決するために示された学習活動の数は以下のとおりである。 5年 6年 計 話し合う １０ 9 １９ 調べる 8 4 １２ 考える 5 5 １０ 実習・実践する １０ 8 １８ 活用する 9 8 １７	・課題を解決するために示された学習活動の数は以下のとおりである。 5年 6年 計 話し合う 5 8 １３ 調べる 4 3 7 考える 6 4 １０ 実習・実践する 3 3 6 活用する １０ 9 １９
		④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・調理、製作、家族との触れ合いや団らん、整理・整頓、地域とのかかわりの例示数は２４。 ・巻頭に自分の生活と照らし合わせながら 2 年間の学習を振り返る「チェックシート（3ページ）」がある。 ・学習の進め方として、「1.見つめよう」「2.計画しよう・実践しよう」「3.生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」と示されている。	・調理、製作、家族との触れ合いや団らん、整理・整頓、地域とのかかわりの例示数は３７。 ・巻頭に３ページで誕生から中学生までの成長を確認できるよう示されている。 ・学習の進め方として、「1.気づく・見つける」「2.わかる・できる」「3.生かす・深める」と示されている。
	資料等	①資料・手引き等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・関連資料は、「日本の伝統」「プロに聞く！」「資料」「発展」「メモ」として示されている。 ・関連する他教科の学習項目は、「リングマーク」で示され、項目数は２７。 ・二次元コードの数は６８。	・関連資料は、「参考」「発展」「豆知識」「キャリアインタビュー」「伝統」として示されている。 ・関連する他教科の学習項目は、「関連マーク」で示され、項目数は２２。 ・二次元コードの数は６６。
	統計等挿絵・図表	①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。	・二次元コードからつながる記入可能なワークシートの数は３８。	・二次元コードからつながる記入可能なワークシートの数は９０。
		②造本については、どのように示されているか。	・重さは、３３５ｇ	・重さは、３６０ｇ
教科独自	家族・家庭生活	①第５学年最初の学習「自分の成長を自覚し、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くこと」について、どのように示されているか。	・「１日の生活の例」を参考にして、ワークシートを使用しながら、家庭にはどのような仕事があるのか考えるよう示されている。	・「ひかるさんの１日の生活」を参考にして、ワークシートを使用しながら、家族の一員としてどのようなことができるか考えるよう示されている。
		②異なる世代の人々（幼児又は低学年の児童や高齢者など）との関わりについて、どのように示されているか。	・「地域の人たちと共に生きよう」の中で、「防災訓練参加プロジェクト」や「ようこそ新一年生との交流」が紹介されている。	・「私から地域につなげよう！広げよう！」の中で、「学校の高学年として幼稚園とオンライン交流」が紹介されている。
	衣食住の生活	①食事の役割がわかり、食事の大切さと食事の仕方について理解できるよう、栄養及び献立について、どのように示されているか。	・「ご飯とみそ汁食べて元気」として五大栄養素と３つの食品の働きを関連付けている。 ・「まかせてね今日の食事」として栄養バランスがよい１食分の献立について考えるよう示されている。 ・調理実習の例は１１。	・「食べて元気に」として五大栄養素と３つの食品の働きを関連付けている。 ・「こんだてを工夫して」として栄養バランスがよい１食分の献立について考えるよう示されている。 ・調理実習の例は１６。
		②日常生活で使用するものを入れる袋などの製作について、どのように示されているか。	・袋物の製作例として「トートバック」「きんちゃく」が示されている。 ・製作計画について「計画・準備」「製作する」「仕上げる」「かたづける」「ふり返る」という５ステップで示されており、製作過程が絵で示されている。 ・製作実習の例は8。	・袋物の製作例として「マイバック」「きんちゃくポーチ」が示されている。 ・製作計画について「計画」「製作」「ふり返り」という３ステップで示されており、製作過程が絵で示されている。 ・製作実習の例は8。
		③季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方についてどのように示されているか。	・６年で「夏をすずしくさわやかに」「冬を明るく暖かく」として、快適な住まい方と衣服の着方を関連付けている。 ・音については、騒音計を使って「地域と音の関係を考えよう～マイ音マップ作り～」の活動が示されている。	・５年で「暖かい住まい方で快適に」、６年で「すずしい住まい方で快適に」として、快適な住まい方と衣服の着方を関連付けている。 ・音については、騒音計を使って「学校内の音の大きさをはかってみよう」の活動が示されている。
	消費生活・環境	①買い物の仕組みや消費者の役割が分かり、ものや金銭の大切さと計画的な使い方に関することについて、どのように示されているか。	・買い物の手順として「必要性や目的を考えて決める、計画を立てる、情報を集める・整理する、選ぶ、買う、使う、ふり返る」という言葉で示されている。 ・売買契約の基礎の例として「お店で野菜を買う」「電話でピザを注文する」「インターネットを利用して服を買う」「自動販売機で飲み物を買う」が示されている。	・買い物の手順として、「計画を立てる、選ぶ、買う・支払う、使う、振り返る」という言葉で示されている。 ・売買契約の基礎の例として「電話でピザを注文する」「カタログで服を注文する」「自動販売機でジュースを買う」「インターネットを使って家具を注文する」が示されている。

【　体育（保健領域）　】　　発行者数６

１　学習指導要領に示された目標

【体育科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。

（２）　運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

（３）　運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う。

【各学年の目標】保健領域

	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
知識及び技能	健康で安全な生活や体の発育・発達について理解する。	心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。	自己やグループの身近な健康に関わる課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
学びに向かう力、人間性	健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。	健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に進んで取り組む態度を養う。

２　教科独自の調査研究の観点

（1）知識及び技能の活用	知識及び技能を活用する学習を行うことについて、どの程度示されているか。
（2）体の発育・発達	性の多様性（LGBTQ）に関する内容について、どのように示されているか。
（3）病気の予防	病気の予防について、どのように示されているか。

【　体育（保健領域）　】

<table>
<tr><th colspan="3">観点 ＼ 発行者</th><th>２　東　書</th><th>４　大日本</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・３～６年の題材数とページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>学習内容</th><th>題材数</th><th>ページ数</th></tr><tr><td>健康な生活</td><td>４</td><td>１９</td></tr><tr><td>体の発育・発達</td><td>３</td><td>１７</td></tr><tr><td>心の健康</td><td>３</td><td>１３</td></tr><tr><td>けがの防止</td><td>４</td><td>２３</td></tr><tr><td>病気の予防</td><td>７</td><td>３２</td></tr><tr><td>計</td><td>２１</td><td>１０４</td></tr></table></td><td>・３～６年の題材数とページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>学習内容</th><th>題材数</th><th>ページ数</th></tr><tr><td>健康な生活</td><td>４</td><td>１５</td></tr><tr><td>体の発育・発達</td><td>４</td><td>１７</td></tr><tr><td>心の健康</td><td>３</td><td>１１</td></tr><tr><td>けがの防止</td><td>５</td><td>１９</td></tr><tr><td>病気の予防</td><td>８</td><td>２５</td></tr><tr><td>計</td><td>２４</td><td>８７</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・知識及び技能の習得を図り、理解を深めるための重要語句（太字）、解説の欄の数９３。</td><td>・知識及び技能の習得を図り、理解を深めるための重要語句（太字）、解説の欄の数１６。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・単元の学習の中で「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」のマークを用いて、学習活動が構成されている。
・思考・判断・表現したことを記述できる箇所の数１０４</td><td>・単元の学習の中で「つかもう」「話し合おう・考えよう・調べよう」「活かそう」のマークを用いて、学習活動が構成されている。
・思考・判断・表現したことを記述できる箇所の数８１</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・題材の課題が掲載されている数２２。</td><td>・題材の課題が掲載されている数２５。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>①資料・手引等が、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・幅広い知識を身に付けるための工夫として題材の終わりに「資料」というコーナーを設けている。
・学習の参考となる情報サイトにリンクする二次元コードの数９１。</td><td>・幅広い知識を身に付けるための工夫として題材の終わりに「もっと知りたい」というコーナーを設けている。
・学習の参考となる情報サイトにリンクする二次元コードの数３６。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</td><td>・思考・判断の手助けとなる表・グラフ、写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>表・グラフ</th><th>写真</th><th>計</th></tr><tr><td>５６</td><td>１８９</td><td>２４５</td></tr></table></td><td>・思考・判断の手助けとなる表・グラフ、写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>表・グラフ</th><th>写真</th><th>計</th></tr><tr><td>３８</td><td>１４９</td><td>１８７</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのようにされているか。</td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>３・４年</th><th>５・６年</th></tr><tr><td>１６０</td><td>２５５</td></tr></table></td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>３・４年</th><th>５・６年</th></tr><tr><td>２００</td><td>２９０</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="3">教科独自</td><td>知識及び技能の活用</td><td>①知識及び技能を活用する学習を行うことについて、どの程度示されているか。</td><td>・話し合い、ブレインストーミング、実習、実験に関する課題の数８２。</td><td>・話し合い、ブレインストーミング、実習、実験に関する課題の数６９。</td></tr>
<tr><td>体の発育・発達</td><td>②性の多様性（LGBTQ）に関する内容について、どのように示されているか。</td><td>・性的指向の対象を「異性」と限定しない表記がある。
・身体の性や性自認等、様々な種類の性の表記がある。
・悩みや不安に関する相談窓口が示されている。
・性の多様性に関する情報サイトにリンクする二次元コードがある。</td><td>・性的指向の対象を「異性」と限定しない表記がある。
・身体の性や性自認等、様々な種類の性の表記がある。
・「LGBT」の表記がある。
・悩みや不安に関する相談窓口が示されている。</td></tr>
<tr><td>病気の予防</td><td>③病気の予防について、どのように示されているか。</td><td>・取り上げられている感染症の数１５。
・発展的な内容の欄で取り上げられている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス、結核、エイズ）
・予防方法について「病原体をなくす」「感染経路を断ち切る」「体の抵抗力を高める」等の内容がある。</td><td>・取り上げられている感染症の数8。
・発展的な内容の欄で取り上げられている感染症（新型コロナウイルス、エイズ）
・予防方法について「病原体をなくす」「感染経路を断ち切る」「体の抵抗力を高める」等の内容がある。</td></tr>
</table>

【　体育（保健領域）　】

<table>
<tr><th colspan="3">観点 ＼ 発行者</th><th>50　大修館</th><th>207　文教社</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・３～６年の題材数とページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>学習内容</th><th>題材数</th><th>ページ数</th></tr><tr><td>健康な生活</td><td>４</td><td>１５</td></tr><tr><td>体の発育・発達</td><td>４</td><td>１９</td></tr><tr><td>心の健康</td><td>４</td><td>１５</td></tr><tr><td>けがの防止</td><td>４</td><td>２１</td></tr><tr><td>病気の予防</td><td>８</td><td>２７</td></tr><tr><td>計</td><td>２４</td><td>９７</td></tr></table></td><td>・３～６年の題材数とページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>学習内容</th><th>題材数</th><th>ページ数</th></tr><tr><td>健康な生活</td><td>４</td><td>１７</td></tr><tr><td>体の発育・発達</td><td>４</td><td>１７</td></tr><tr><td>心の健康</td><td>４</td><td>１７</td></tr><tr><td>けがの防止</td><td>４</td><td>２５</td></tr><tr><td>病気の予防</td><td>８</td><td>３５</td></tr><tr><td>計</td><td>２４</td><td>１１１</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・知識及び技能の習得を図り、理解を深めるための重要語句（太字）、解説の欄の数１０４。</td><td>・知識及び技能の習得を図り、理解を深めるための重要語句（太字）、解説の欄の数４８。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・単元の学習の中で「課題をつかもう」「考えよう・調べよう・話し合おう」「生かそう・伝えよう」のマークを用いて、学習活動が構成されている。
・思考・判断・表現したことを記述できる箇所の数７１</td><td>・単元の学習の中で「Mission」（課題）（まとめ）「Stage」（考える）のマークを用いて、学習活動が構成されている。
・思考・判断・表現したことを記述できる箇所の数４７</td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・題材の課題が掲載されている数２５。</td><td>・題材の課題が掲載されている数２４。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>①資料・手引等が、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・幅広い知識を身に付けるための工夫として題材の終わりに「もっと学びを広げよう！」というコーナーを設けている。
・学習の参考となる情報サイトにリンクする二次元コードの数５４。</td><td>・幅広い知識を身に付けるための工夫として題材の終わりに「episode」「もっと考えよう課」というコーナーを設けている。
・学習の参考となる情報サイトにリンクする二次元コードの数３０。</td></tr>
<tr><td>挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</td><td>・思考・判断の手助けとなる表・グラフ、写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>表・グラフ</th><th>写真</th><th>計</th></tr><tr><td>４４</td><td>１４２</td><td>１８６</td></tr></table></td><td>・思考・判断の手助けとなる表・グラフ、写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>表・グラフ</th><th>写真</th><th>計</th></tr><tr><td>１９</td><td>１９３</td><td>２１２</td></tr></table></td></tr>
<tr><td></td><td>②造本については、どのようにされているか。</td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>３・４年</th><th>５・６年</th></tr><tr><td>１６０</td><td>２４０</td></tr></table></td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>３・４年</th><th>５・６年</th></tr><tr><td>１６５</td><td>３３０</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="3">教科独自</td><td>知識及び技能の活用</td><td>①知識及び技能を活用する学習を行うことについて、どの程度示されているか。</td><td>・話し合い、ブレインストーミング、実習、実験に関する課題の数６２。</td><td>・話し合い、ブレインストーミング、実習、実験に関する課題の数４１。</td></tr>
<tr><td>体の発育・発達</td><td>②性の多様性（LGBTQ）に関する内容について、どのように示されているか。</td><td>・性的指向の対象を「異性」と限定しない表記がある。
・悩みや不安に関する相談窓口が示されている。</td><td>・身体の性や性自認等、様々な性の表記がある。
・悩みや不安に関する相談窓口がわかるサイトにつながる二次元コードがある。</td></tr>
<tr><td>病気の予防</td><td>③病気の予防について、どのように示されているか。</td><td>・取り上げられている感染症の数6。
・発展的な内容の欄で取り上げられている感染症（新型コロナウイルス、エイズ）
・予防方法について「病原体をなくす」「感染経路を断ち切る」「体の抵抗力を高める」等の内容がある。</td><td>・取り上げられている感染症の数１２。
・発展的な内容の欄で取り上げられている感染症（新型コロナウイルス、エイズ）
・予防方法について「病原体をなくす」「感染経路を断ち切る」「体の抵抗力を高める」等の内容がある。</td></tr>
</table>

【　体育（保健領域）　】

<table>
<tr><th colspan="3">観点 ＼ 発行者</th><th>208　光　文</th><th>224　学　研</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="3">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材を、どのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・３～６年の題材数とページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>学習内容</th><th>題材数</th><th>ページ数</th></tr><tr><td>健康な生活</td><td>４</td><td>１５</td></tr><tr><td>体の発育・発達</td><td>４</td><td>１７</td></tr><tr><td>心の健康</td><td>３</td><td>１３</td></tr><tr><td>けがの防止</td><td>５</td><td>１７</td></tr><tr><td>病気の予防</td><td>８</td><td>２５</td></tr><tr><td>計</td><td>２４</td><td>８７</td></tr></table></td><td>・３～６年の題材数とページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>学習内容</th><th>題材数</th><th>ページ数</th></tr><tr><td>健康な生活</td><td>４</td><td>１９</td></tr><tr><td>体の発育・発達</td><td>４</td><td>１９</td></tr><tr><td>心の健康</td><td>３</td><td>１７</td></tr><tr><td>けがの防止</td><td>４</td><td>２３</td></tr><tr><td>病気の予防</td><td>８</td><td>３５</td></tr><tr><td>計</td><td>２３</td><td>１１３</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・知識及び技能の習得を図り、理解を深めるための重要語句（太字）、解説の欄の数９１。</td><td>・知識及び技能の習得を図り、理解を深めるための重要語句（太字）、解説の欄の数３８。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・単元の学習の中で「見つけよう」「考えよう・話し合おう・調べよう」「生かそう」マークを用いて、学習活動が構成されている。
・思考・判断・表現したことを記述できる箇所の数５８</td><td>・単元の学習の中で「くらべる」「話し合う・アドバイスする」「学びを生かす」などのマークを用いて、学習活動が構成されている。
・思考・判断・表現したことを記述できる箇所の数１２５</td></tr>
<tr><td>③学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・題材の課題が掲載されている数２５。</td><td>・題材の課題が掲載されている数２３。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①文字、行間、鮮明度、文章表現等は、どのように示されているか。</td><td>・幅広い知識を身に付けるための工夫として題材の終わりに「さらに広げよう深めよう」というコーナーを設けている。</td><td>・幅広い知識を身に付けるための工夫として題材の終わりに「ほけんのはこ」「もっと知りたい・調べたい」というコーナーを設けている。</td></tr>
<tr><td>②資料・手引等が、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・学習の参考となる情報サイトにリンクする二次元コードの数４２。</td><td>・学習の参考となる情報サイトにリンクする二次元コードの数３６。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</td><td>・思考・判断の手助けとなる表・グラフ、写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>表・グラフ</th><th>写真</th><th>計</th></tr><tr><td>２０</td><td>１２２</td><td>１４２</td></tr></table></td><td>・思考・判断の手助けとなる表・グラフ、写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>表・グラフ</th><th>写真</th><th>計</th></tr><tr><td>２８</td><td>１４８</td><td>１７６</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのようにされているか。</td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>３・４年</th><th>５・６年</th></tr><tr><td>１４０</td><td>２１０</td></tr></table></td><td>・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>３・４年</th><th>５・６年</th></tr><tr><td>１６０</td><td>２７０</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="3">教科独自</td><td>知識及び技能の活用</td><td>①知識及び技能を活用する学習を行うことについて、どの程度示されているか。</td><td>・話し合い、ブレインストーミング、実習、実験に関する課題の数５５。</td><td>・話し合い、ブレインストーミング、実習、実験に関する課題の数４６。</td></tr>
<tr><td>体の発育・発達</td><td>②性の多様性（LGBTQ）に関する内容について、どのように示されているか。</td><td>・性的指向の対象を「異性」と限定しない表記がある。
・身体の性や性自認等、様々な性の表記がある。
・悩みや不安に関する相談窓口が示されている。</td><td>・性的指向の対象を「異性」と限定しない表記がある。
・身体の性や性自認等、様々な性の表記がある。
・悩みや不安に関する相談窓口が示されている。</td></tr>
<tr><td>病気の予防</td><td>③病気の予防について、どのように示されているか。</td><td>・取り上げられている感染症の数9。
・発展的な内容の欄で取り上げられている感染症（新型コロナウイルス、エイズ）
・予防方法について「病原体をなくす」「感染経路を断ち切る」「体の抵抗力を高める」等の内容がある。</td><td>・取り上げられている感染症の数3。
・発展的な内容の欄で取り上げられている感染症（新型コロナウイルス、エイズ、ノロウイルス、O－１５７）
・予防方法について「病原体をなくす」「感染経路を断ち切る」「体の抵抗力を高める」等の内容がある。</td></tr>
</table>

【 道　徳 】　発行者数６

１　学習指導要領に示された目標

【道徳科の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

○　道徳的価値についての理解
　道徳的価値が大切であると理解したり、道徳的価値を実現する難しさを理解したりすること

○　自己を見つめる
　これまでの自分の経験やその時の考え方、感じ方を振り返る等

○　多面的・多角的に考える
　物事を一面的に捉えるのではなく、様々な視点から物事を理解し、学習に取り組む等

○　自己の生き方についての考えを深める
　これからの生き方の課題を考え、それを自己の生き方として実現していこうとする思いや願い等

【道徳科に用いられる教材の具備する要件】

- 児童の発達の段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしいものであること。
- 人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるものであること。
- 多様な見方や考え方のできる事柄を取り扱う場合には、特定の見方や考え方に偏った取扱いがなされていないものであること。

２　教科独自の調査研究の観点

（1）人間尊重の精神	①生命尊重や多様性（高齢者、障害者、性的マイノリティー、外国の人等）をテーマにした教材は、どのように示されているか。
（2）悩みや葛藤、人間関係等の課題	①情報モラルの具体的事柄について深く考えることできる教材は、どのように示されているか。 ②学級や学校生活における具体的事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。
（3）生きる喜びや勇気	①世界で活躍する人物・スポーツ選手等の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。

【 道 徳 】

<table>
<tr><th colspan="2">観点＼発行者</th><th>2 東 書</th><th>17 教 出</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="3">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・教材の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>34</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>209</td></tr></table></td><td>・教材の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>34</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>209</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・各教材における指導内容の示し方は次のとおりである。
教材の題名の前に、道徳的価値を示す副題がある。また、教材文の最後に問いかけがある。</td><td>・各教材における指導内容の示し方は次のとおりである。
教材の題名の前に、道徳的価値を示す副題と、その内容を解説するリード文がある。また、教材文の最後に問いかけがある。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・書き込みのページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td><td>44</td></tr></table></td><td>・書き込みのページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>40</td><td>39</td><td>41</td><td>42</td><td>39</td><td>40</td><td>241</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④主体的に学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は次のとおりである。
「気づく、考える、広げる・深める」という学び方を示している。また、学習活動の例をイラストや吹き出しで示している。</td><td>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は次のとおりである。
「考える、ふかめる、つなげる」という学び方を示している。また、学習活動の例をイラストや吹き出しで示している。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・読み物教材以外の教材の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>11</td><td>9</td><td>13</td><td>11</td><td>11</td><td>12</td><td>67</td></tr></table>・２次元コードからつながる資料数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>39</td><td>45</td><td>52</td><td>49</td><td>54</td><td>57</td><td>296</td></tr></table>・朗読音声、スライドショー、資料動画、デジタルノート、ワークシート、学習記録シート、思考ツール、ウエブサイトリンク</td><td>・読み物教材以外の教材の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>21</td></tr></table>・２次元コードからつながる資料数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>34</td><td>38</td><td>54</td><td>62</td><td>68</td><td>71</td><td>327</td></tr></table>・教材内容紹介、人物紹介、図書紹介、資料画像、ウエブサイトリンク</td></tr>
<tr><td>挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。
②造本については、どのように示されているか。</td><td>・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>平均</th></tr><tr><td>5.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.4</td><td>4.1</td><td>4.8</td><td>4.6</td></tr></table>・AB判　・別冊無
・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>285</td><td>305</td><td>340</td><td>350</td><td>365</td><td>385</td></tr></table></td><td>・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>平均</th></tr><tr><td>4.8</td><td>4.3</td><td>3.7</td><td>4.2</td><td>4.5</td><td>4.1</td><td>4.3</td></tr></table>・AB判　・別冊無
・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>350</td><td>345</td><td>360</td><td>365</td><td>395</td><td>390</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="3">教科独自</td><td>人間尊重の精神</td><td>①生命尊重や多様性（高齢者、障害者、性的マイノリティー、外国の人等）をテーマにした教材は、どのように示されているか。</td><td>・生命尊重や多様な生き方を題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>生命誕生の喜びや生きることの大切さを考える教材がある。性の多様性について考えることができる図書を紹介している。</td></tr><tr><td>中</td><td>病気の経験から、これまで気づかなかった幸せに気づき、命の大切さを考える教材がある。目の不自由な人に親切に接する大切さを考える教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>重い病気と闘う女の子と、その生き方に励まされる周囲の人の姿から、命の大切さを考える教材がある。全盲のピアニスト・辻井伸行の生き方を取り上げた教材がある。</td></tr></table></td><td>・生命尊重や多様な生き方を題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>赤ちゃんの誕生について取り上げ、誕生の喜びや命の大切さを考える教材がある。電車の中で妊婦をかばった男性の姿から、様々な立場の人への配慮を考える教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>重い病気と闘う女の子の書いた詩から、命や生きることについて考える教材がある。オス同士で卵を温めるペンギンの姿を取り上げた教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>祖父の病気と死から、命のつながりを考える教材がある。登場人物の言葉遣いから、多様性をみとめることの大切さについて考える教材がある。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>悩みや葛藤、人間関係等の課題</td><td>①情報モラルの具体的事柄について深く考えることのできる教材は、どのように示されているか。
②学級や学校生活における具体的事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。</td><td>・情報モラルを題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>情報機器等を使う時間について考えることを取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>情報機器等を使う時に気をつけることを取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>SNS 等での差別や偏見について取り扱った教材がある。</td></tr></table>・いじめを題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>自分の失敗を他の人に押しつけ、ごまかそうとしている友だちについて考える教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>からかいはいじめであると気づいた主人公が正しいことを信じて行動する教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>心のすれ違いを伝え合うことで、互いを尊重し合う人間関係づくりの内容の教材がある。</td></tr></table></td><td>・情報モラルを題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>他人の個人情報を尋ねられた時に気をつけることについて取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>メール等のやりとりの際に、自分の気持ちを正しく伝える大切さを取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>個人情報を守ることや、情報機器とのよりよいつき合い方を取り扱った教材がある。</td></tr></table>・いじめを題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>嫌な仕事を押し付けた後、仲良しの友だちの言動から自分を振り返る内容の教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>いじめが起きた問題点や解決方法を考える内容の教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>いじめられている友だちを助けられなかった主人公の気持ちを考える内容の教材がある。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>生きる喜びや勇気</td><td>①世界で活躍する人物・スポーツ選手等の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。</td><td>・取り上げられている世界で活躍する人物・スポーツ選手・先人は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>藤子・F・不二雄</td></tr><tr><td>中</td><td>池江璃花子、リンカーン、木村安兵衛・英三郎</td></tr><tr><td>高</td><td>宮沢賢治、加瀬三郎、パブロ・ピカソ、中村 哲、臼井二美男、手塚治虫、辻井伸行、黒柳徹子　他</td></tr></table></td><td>・取り上げられている世界で活躍する人物・スポーツ選手・先人は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>アンリ・ファーブル</td></tr><tr><td>中</td><td>池江璃花子、前島 密、山葉寅楠</td></tr><tr><td>高</td><td>渋沢栄一、中村 哲、杉原千畝、棟方志功、新渡戸稲造、野口英世、さかなクン、藤井聡太　他</td></tr></table></td></tr>
</table>

【 道 徳 】

観点		発行者	38 光村	116 日文
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・教材の数は次のとおりである。 1年:34 / 2年:35 / 3年:35 / 4年:35 / 5年:35 / 6年:35 / 合計:209	・教材の数は次のとおりである。 1年:37 / 2年:38 / 3年:38 / 4年:38 / 5年:38 / 6年:38 / 合計:227
		②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・各教材における指導内容の示し方は次のとおりである。 教材の題名の下に、道徳的価値を示す副題と、その内容を解説するリード文がある。また、教材文の最後に問いかけがある。	・各教材における指導内容の示し方は次のとおりである。 教材の題名の前に、道徳的価値を示す副題がある。また、教材文の最後に問いかけがある。
		③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・書き込みのページ数は次のとおりである。 1年:6 / 2年:5 / 3年:10 / 4年:8 / 5年:8 / 6年:7 / 合計:44	・書き込みのページ数は次のとおりである。 1年:7 / 2年:9 / 3年:8 / 4年:9 / 5年:10 / 6年:6 / 合計:49
		④主体的に学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は次のとおりである。 「考える、話し合う、つなげる」という学び方を示している。また、学習活動に必要な話し合いのこつをイラストや吹き出しで示している。	・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は次のとおりである。 「気づく、考える・深める、見つめる・生かす」という学び方を示している。また、学習活動の例を写真や吹き出しで示している。
	資料等	①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・読み物教材以外の教材の数は次のとおりである。 1年:4 / 2年:4 / 3年:6 / 4年:6 / 5年:6 / 6年:6 / 32 ・２次元コードからつながる資料数は次のとおりである。 1年:20 / 2年:23 / 3年:29 / 4年:31 / 5年:28 / 6年:30 / 161 ・朗読音声、資料画像、資料動画、スライドショー、思考ツール	・読み物教材以外の教材の数は次のとおりである。 1年:8 / 2年:8 / 3年:8 / 4年:8 / 5年:8 / 6年:8 / 48 ・２次元コードからつながる資料数は次のとおりである。 1年:38 / 2年:41 / 3年:43 / 4年:42 / 5年:41 / 6年:43 / 248 ・朗読音声、資料画像、資料動画、メッセージ動画、アニメーション動画、オリエンテーション動画、思考ツール、クイズ等アプリケーション、ワークシート
	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。 1年:4.3 / 2年:4.7 / 3年:4.5 / 4年:5.4 / 5年:4.8 / 6年:5.3 / 平均:4.8	・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。 1年:5.5 / 2年:5.4 / 3年:5.2 / 4年:4.3 / 5年:4.6 / 6年:5.0 / 平均:5.0
		②造本については、どのように示されているか。	・B5判　・別冊無 ・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g） 1年:260 / 2年:310 / 3年:340 / 4年:350 / 5年:350 / 6年:380	・AB判　・別冊有（ノート） ・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g） 1年:415 / 2年:445 / 3年:470 / 4年:480 / 5年:480 / 6年:490
教科独自	人間尊重の精神	①生命尊重や多様性（高齢者、障害者、性的マイノリティー、外国の人等）をテーマにした教材は、どのように示されているか。	・生命尊重や多様な生き方を題材とした教材の例は次のとおりである。 低：小さな頃からの成長を取り上げ、生きることや成長について考える教材がある。他の国の子どもたちの生活の様子について取り上げた教材がある。 中：生まれたばかりの妹の姿から、一人一人の命の大切さを考える教材がある。外国の人との交流から、異文化について考える教材がある。 高：マザー・テレサの生き方から、一人一人の命の大切さを考える教材がある。障害のある女の子の成長や周囲の人の支えを考える教材がある。	・生命尊重や多様な生き方を題材とした教材の例は次のとおりである。 低：小さな頃からの成長を取り上げ、生きる喜びを考える教材がある。外国の人と理解し合うことを考える教材がある。 中：日野原重明医師の生き方から、命の大切さを考える教材がある。世界の国々には、いろいろな遊びがあることを知る教材がある。 高：祖父の死を通して、命のつながりと尊さを考える教材がある。様々な立場の人への心遣いや思いやり、接し方を考える教材がある。
	悩みや葛藤、人間関係等の課題	①情報モラルの具体的事柄について深く考えることのできる教材は、どのように示されているか。	・情報モラルを題材とした教材の例は次のとおりである。 低：誰かが書いたものや作ったものの扱い方について考えることを取り扱った教材がある。 中：メール等のやりとりについて、取り扱った教材がある。 高：メール等のやりとりの際に、守らなければならない権利を取り扱った教材がある。	・情報モラルを題材とした教材の例は次のとおりである。 低：情報機器等を使う時間について考えることを取り扱った教材がある。 中：メール等のやりとりの際に、気をつけることを取り扱った教材がある。 高：情報機器等を使う時間や情報モラルを正しく理解することを取り扱った教材がある。
		②学級や学校生活における具体的事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。	・いじめを題材とした教材の例は次のとおりである。 低：いじめを見つけた時に、悪いことは悪いと素直に伝えることの大切さを取り扱った教材がある。 中：いじめを見つけた時に、どうするか考える教材がある。 高：友だちがいじめられている時に、声をあげ行動する大切さを取り扱った教材がある。	・いじめを題材とした教材の例は次のとおりである。 低：靴隠しの現場を見た主人公について考え、正しい行いをするよさを扱った教材がある。 中：いじりといじめの違いについて考え、分け隔てなく接するよさを扱った教材がある。 高：いじめを断ち切るために、自分ができることを考えて、行動するよさを取り扱った教材がある。
	生きる喜びや勇気	①世界で活躍する人物・スポーツ選手等の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。	・取り上げられている世界で活躍する人物・スポーツ選手・先人は次のとおりである。 低：中屋美和、吉澤 章 中：若田光一、高田真希、辻口博啓、小澤琢祐、奥原希望、アンリ・ファーブル 高：大谷翔平、手塚治虫、杉原千畝、マザー・テレサ、西山 麗、小川笙船、前野浩太郎　他	・取り上げられている世界で活躍する人物・スポーツ選手・先人は次のとおりである。 低：アンリ・ファーブル 中：マルガレーテ・シュタイフ、歌川広重、日野原重明、アルブレヒト・デューラー 高：アニー・サリバン、加藤 明、ワンガリ・マータイ、杉原千畝、伊能忠敬、山中伸弥、了海　他

【 道 徳 】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>208 光 文</th><th>224 学 研</th></tr>
<tr><td rowspan="4">教科共通</td><td rowspan="2">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・教材の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>40</td><td>240</td></tr></table></td><td>・教材の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>34</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>35</td><td>209</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・各教材における指導内容の示し方は次のとおりである。
教材の題名の前に、道徳的価値を示す副題とその内容を解説するリード文がある。また、教材文の最後に問いかけがある。</td><td>・各教材における指導内容の示し方は次のとおりである。
教材の題名の下に、教材文の言葉や一文を掲載している。また、教材文の最後に問いかけがある。</td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・書き込みのページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>13</td><td>10</td><td>7</td><td>6</td><td>7</td><td>5</td><td>48</td></tr></table></td><td>・書き込みのページ数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>12</td><td>12</td><td>14</td><td>13</td><td>10</td><td>10</td><td>71</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④主体的に学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は次のとおりである。
「問いを見つける、考える、まとめる・ふりかえる、ひろげる・つなげる」という学び方を示している。また、学習活動の例をイラストで示している。</td><td>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は次のとおりである。
「見つける、考える、生かす」という学び方を示している。また、学習活動の例をイラストで示している。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・読み物教材以外の教材の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>17</td><td>15</td><td>13</td><td>15</td><td>16</td><td>15</td><td>91</td></tr></table>・２次元コードからつながる資料数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>11</td><td>8</td><td>11</td><td>14</td><td>15</td><td>13</td><td>72</td></tr></table>・資料画像、メッセージ動画、資料動画、ウエブサイトリンク</td><td>・読み物教材以外の教材の数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>20</td><td>17</td><td>18</td><td>20</td><td>19</td><td>13</td><td>107</td></tr></table>・２次元コードからつながる資料数は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>11</td><td>10</td><td>11</td><td>65</td></tr></table>・資料音声、資料画像、資料動画、クイズ動画、ワークシート、思考ツール、ウエブサイトリンク</td></tr>
<tr><td>挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。
②造本については、どのように示されているか。</td><td>・教材一つ当たりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>平均</th></tr><tr><td>5.8</td><td>6.1</td><td>4.4</td><td>4.2</td><td>4.3</td><td>4.3</td><td>4.9</td></tr></table>・AB判　・別冊無
・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>320</td><td>350</td><td>360</td><td>370</td><td>380</td><td>380</td></tr></table></td><td>・教材一つ当たりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th><th>平均</th></tr><tr><td>5.4</td><td>5.0</td><td>5.2</td><td>4.3</td><td>5.0</td><td>5.1</td><td>5.0</td></tr></table>・AB判　・別冊無
・各学年の教科書の重さは次のとおりである。（g）
<table><tr><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>4年</th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>300</td><td>310</td><td>320</td><td>340</td><td>340</td><td>350</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="3">教科独自</td><td>人間尊重の精神</td><td>①生命尊重や多様性（高齢者、障害者、性的マイノリティー、外国の人等）をテーマにした教材は、どのように示されているか。</td><td>・生命尊重や多様な生き方を題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>１枚の写真から、家族愛について考える教材がある。外国の友だちに折り紙を教えることから、外国に親しむことを考える教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>日野原重明の生き方から、命の大切さを考える教材がある。目の不自由な人へ席をゆずる等の親切について考える教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>交通事故で亡くなった家族へのメッセージから、かけがえのない命を考える教材がある。ピンクのバッグを取り上げ、ジェンダーについて考える教材がある。</td></tr></table></td><td>・生命尊重や多様な生き方を題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>花や動物の写真から、小さな命について考える教材がある。様々な国の人の写真から、外国の人と仲良くする大切さを考える教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>祖父との会話から、命のつながりや精一杯生きることを考える教材がある。信号を待つ、目が不自由な人への親切について考える教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>祖父の死を通して、命のつながりと尊さを考える教材がある。障害の有無にかかわらず、自分のよさを生かして働く大切さを考える教材がある。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>悩みや葛藤、人間関係等の課題</td><td>①情報モラルの具体的事柄について深く考えることのできる教材は、どのように示されているか。
②学級や学校生活における具体的事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。</td><td>・情報モラルを題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>情報機器等を使う際に、気をつけたいルールやマナーについて取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>メール等のやりとりの際に、互いが気持ちよく発信することについて取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>メール等のやりとりの際の危険性について取り扱った教材がある</td></tr></table>・いじめを題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>仲間外しをせず仲良くするよさや、よいと思うことを進んで行う大切さを取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>一面だけで決めつけず、誰に対しても分け隔てなく接することの大切さを取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>噂によって傷ついた相手の立場に立って考え、励ましや援助の大切さを取り扱った教材がある。</td></tr></table></td><td>・情報モラルを題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>情報機器等で個人情報を扱う際に、本人の許可が必要であることを取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>メール等のやりとりの際に、個人情報について気をつけることを取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>メール等のやりとりの際に、返信等で気をつけなければならないことを取り扱った教材がある。</td></tr></table>・いじめを題材とした教材の例は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>自分の好みや利害にとらわれず、友だちと仲良くするよさを取り扱った教材がある。</td></tr><tr><td>中</td><td>勝つことが優先される裏で、悲しい思いをしている友だちについて考える教材がある。</td></tr><tr><td>高</td><td>本当の友だちとは何かを話し合う教材がある。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>生きる喜びや勇気</td><td>①世界で活躍する人物・スポーツ選手等の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。</td><td>・取り上げられている世界で活躍する人物・スポーツ選手・先人は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>やなせたかし、大前光市、さかなクン</td></tr><tr><td>中</td><td>内村航平、安藤百福、野口英世、手塚治虫、アルフレッド・ノーベル、山川幸則</td></tr><tr><td>高</td><td>池江璃花子、マハトマ・ガンジー、三浦雄一郎、鑑真、杉原千畝、中村 哲、遠藤 謙　他</td></tr></table></td><td>・取り上げられている世界で活躍する人物・スポーツ選手・先人は次のとおりである。
<table><tr><td>低</td><td>やなせたかし、長谷川町子、平野美宇</td></tr><tr><td>中</td><td>水木しげる、西川悟平、ヘレン・ケラー、ジョン万次郎、藤井聡太、高橋尚子、二宮金次郎　他</td></tr><tr><td>高</td><td>マザー・テレサ、リンカーン、上村松園、牧野富太郎、内村航平、羽生結弦　他</td></tr></table></td></tr>
</table>

【　外国語（英語）　】　　発行者数６

１　学習指導要領に示された目標

【外国語科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語の違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。

（2）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

（3）外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【英語の目標】

聞くこと	ア　ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。 イ　ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。 ウ　ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
読むこと	ア　活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。 イ　音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと〔やり取り〕	ア　基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。 イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。 ウ　自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
話すこと〔発表〕	ア　日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 イ　自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 ウ　身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア　大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。 イ　自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

２　教科独自の調査研究の観点

(1) 学習者用デジタル教科書における効果的な補助	①児童の興味・関心を高め、指導の効率化や言語活動の充実を図るために、音声・歌・動画やアニメーション・字幕といった機能や内容が、どのように示されているか。
(2) 文字の指導	① 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を識別したり、書き写したりすることができるようになるための題材や活動が、どのように示されているか。

【　外国語（英語）　】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>2　東　書</th><th>9　開隆堂</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="4">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・各学年の総頁数及び単元数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>総頁数</td><td>９６</td><td>９６</td><td>１９２</td></tr><tr><td>単元数</td><td>８</td><td>８</td><td>１６</td></tr></table>・単元名は英語、単元目標は日本語で示されている。単元ごとに単元目標と活動が示されている。
・多くの単元は Starting Out⇒ Let's Watch⇒ Let's Listen⇒ Let's Try⇒ Enjoy Communication⇒ Over the Horizon のような順で配列されている。</td><td>・各学年の総頁数及び単元数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>総頁数</td><td>１２８</td><td>１２８</td><td>２５６</td></tr><tr><td>単元数</td><td>８</td><td>８</td><td>１６</td></tr></table>・単元名は英語と日本語、単元目標は日本語で示されている。毎時間ごとの目標が示されている。
・多くの単元は Let's Watch and Think ⇒Let's Play⇒ ⇒Let's Listen⇒ Let's Listen and Read⇒ Let's Try ⇒ Activity⇒ Let's Write のような順に配列されている。</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・外国語活動接続のための頁は２頁。
・自己紹介や好きなものの紹介、欲しいものや道案内など、外国語活動で学んだ表現や語彙を使って活動するつくりとなっている。
・各欄で活用を求めている技能は、次のとおりである。
<table><tr><th>技能＼欄</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>やり取り</th><th>発表</th><th>書く</th></tr><tr><td>Let's Try</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Let's Read and Write</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>Enjoy Communication</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr></table></td><td>・外国語活動接続のための頁は２頁。
・自己紹介や好きなものの紹介、時刻や道案内など、外国語活動で学んだ表現や語彙を使って活動するつくりとなっている。
・各欄で活用を求めている技能は、次のとおりである。
<table><tr><th>技能＼欄</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>やり取り</th><th>発表</th><th>書く</th></tr><tr><td>Activity</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>Let's Listen and Read</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>Let's Write</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・自己表現活動で扱われているテーマ数と主な内容は、次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>テーマ数</td><td>８</td><td>８</td></tr><tr><td>主な内容</td><td>友達の誕生日
オリジナルタウンの道案内
日本のすてき紹介</td><td>宝物紹介
小学校生活の思い出
行きたい国の魅力</td></tr></table>・国内外の文化や他者との相互理解についての単元の合計数は、次のとおりである。
<table><tr><th>日本理解</th><th>国際理解</th><th>相互理解</th><th>合計</th></tr><tr><td>２</td><td>３</td><td>１１</td><td>１６</td></tr></table></td><td>・自己表現活動で扱われているテーマ数と主な内容は、次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>テーマ数</td><td>８</td><td>８</td></tr><tr><td>主な内容</td><td>夢をかなえるための時間割
オリジナル昼食ニューの紹介
クラスのみんなのヒーロー</td><td>理想の１日のスケジュール
行きたい国の魅力
「将来の夢」宣言</td></tr></table>・国内外の文化や他者との相互理解についての単元の合計数は、次のとおりである。
<table><tr><th>日本理解</th><th>国際理解</th><th>相互理解</th><th>合計</th></tr><tr><td>２</td><td>１</td><td>１３</td><td>１６</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・国を表す絵や写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>アジア</th><th>ヨーロッパ</th><th>オセアニア</th><th>アフリカ</th><th>北アメリカ</th><th>南アメリカ</th></tr><tr><td>７</td><td>１２</td><td>１</td><td>３</td><td>６</td><td>３</td></tr></table>・学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。
・まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。
・児童が使用する Can-do リストは別冊『My Picture Dictionary』に掲載されている。</td><td>・国を表す絵や写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>アジア</th><th>ヨーロッパ</th><th>オセアニア</th><th>アフリカ</th><th>北アメリカ</th><th>南アメリカ</th></tr><tr><td>４０</td><td>３６</td><td>１２</td><td>１３</td><td>１５</td><td>２０</td></tr></table>・学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。
・まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。
・児童が使用する Can-do リストがある。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・別冊『My Picture Dictionary』に、単語２８頁、アルファベット表、ローマ字表、会話表現、地図、Can-Do リストがある。
・巻末付録には、絵カード４頁、コミュニケーションカードなどがある。</td><td>・別冊『Word Book』に、単語２８頁が掲載されている。
・巻末付録には、絵カード４頁、アルファベット表、ローマ字表、地図、すごろくなどがある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。
<table><tr><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>８９</td><td>８４</td><td>１７３</td></tr></table></td><td>・直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。
<table><tr><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>８５</td><td>８５</td><td>１７０</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td><table><tr><th></th><th>サイズ</th><th>重さ</th></tr><tr><td>5年</td><td rowspan="2">A4判</td><td>２７０g</td></tr><tr><td>6年</td><td>２６３g</td></tr></table></td><td><table><tr><th></th><th>サイズ</th><th>重さ</th></tr><tr><td>5年</td><td rowspan="2">A4判</td><td>３３０g</td></tr><tr><td>6年</td><td>３３０g</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">教科独自</td><td>学習者用デジタル教科書における効果的な補助</td><td>①児童の興味・関心を高め、指導の効率化や言語活動の充実を図るために、音声・歌・動画やアニメーション・字幕といった機能や内容が、どのように示されているか。</td><td>・学習者用デジタル教科書に掲載されている機能や内容には、音声、歌、動画・アニメーション、字幕、拡大、書き込み、保存、ドリル・ワークシートなどがある。
・音声や動画の再生速度を変更できる。</td><td>・学習者用デジタル教科書に掲載されている機能や内容には、音声、歌、動画・アニメーション、字幕、書き込み、保存、背景・文字色の変更・反転、ルビがある。
・音声や動画の再生速度を変更できる。</td></tr>
<tr><td>文字の指導</td><td>①音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を識別したり，書き写したりすることができるようになるための題材や活動が、どのように示されているか。</td><td>・文章を扱う（読むこと）頁数は、６年１頁
・文章の題材として、中学生からのＥメールについて取り扱われている。
・各単元に音と文字の結びつきを取り扱っている欄がる。
・各単元の終末に音と文字の結びつきを取り扱っている頁がある。
・単元ごとに習った文型を使って英文を書く欄がある。</td><td>・文章を扱う（読むこと）頁数は、５・６年ともに８頁。
・文章の題材として、自分や友達のこと、日本や世界のことなどについて取り扱われている。
・各単元に音と文字の結びつきを取り扱っている欄がる。
・巻末に音と文字の結びつきを取り扱っている頁がある。
・単元ごとに習った文型を使って英文を書く欄がある。</td></tr>
</table>

【　外国語（英語）　】

<table>
<tr><th colspan="2">観点＼発行者</th><th>１５　三省堂</th><th>１７　教　出</th></tr>
<tr><td rowspan="6">教科共通</td><td rowspan="3">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・各学年の総頁数及び単元数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>総頁数</td><td>１１２</td><td>１１２</td><td>２２４</td></tr><tr><td>単元数</td><td>7</td><td>7</td><td>１４</td></tr></table>・単元名は英語、単元目標は日本語で示されている。
・大単元はHOP（学びの見直し）⇒ STEP（表現練習・コミュニケーション活動）⇒JUMP（表現活動）という配列になっている。
・多くの単元はLet’s Watch⇒ Let’s Listen⇒ Let’s Speak⇒ Let’s Play⇒ Let’s Talk⇒ Let’s Read and Write⇒ Let’s Listen and Read⇒ Let’s Try のような順で配列されている。</td><td>・各学年の総頁数及び単元数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>総頁数</td><td>１１６</td><td>１０８</td><td>２２４</td></tr><tr><td>単元数</td><td>8</td><td>9</td><td>１７</td></tr></table>・単元名は英語、単元目標は日本語で示されている。
・多くの単元はLet’s Watch⇒ Let’s Sing⇒ Let’s Say It Together⇒ Let’s Listen⇒ Activity⇒ Let’s Read / Let’s Write⇒ Final Activity のような順で配列されている。</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・外国語活動接続のための頁は４頁。
・好きなものやほしいものの紹介、曜日や天気など、外国語活動で学んだ表現や語彙を使って活動するつくりとなっている。
・各欄で活用を求めている技能は、次のとおりである。
<table><tr><th>技能＼欄</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>やり取り</th><th>発表</th><th>書く</th></tr><tr><td>Let’s Read & Write</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>Let’s Listen & Read</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>Let’s Try</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table></td><td>・外国語活動接続のための頁は６頁。
・日常生活や学校生活、動物やアルファベット、など、外国語活動で学んだ表現や語彙を使って活動するつくりとなっている。
・各欄で活用を求めている技能は、次のとおりである。
<table><tr><th>技能＼欄</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>やり取り</th><th>発表</th><th>書く</th></tr><tr><td>Activity</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Let’s Read / Let’s Write</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>Final Activity</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・自己表現活動で扱われているテーマ数と主な内容は、次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>テーマ数</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>主な内容</td><td>名前や誕生日の紹介
あこがれの人の紹介
おすすめの場所の魅力</td><td>住んでいる地域の紹介
小学校生活の思い出
中学生になったらしたいこと</td></tr></table>・国内外の文化や他者との相互理解についての単元の合計数は、次のとおりである。
<table><tr><th>日本理解</th><th>国際理解</th><th>相互理解</th><th>合計</th></tr><tr><td>2</td><td>1</td><td>１１</td><td>１４</td></tr></table></td><td>・自己表現活動で扱われているテーマ数と主な内容は、次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>5年</th><th>6年</th></tr><tr><td>テーマ数</td><td>9</td><td>9</td></tr><tr><td>主な内容</td><td>友達の誕生日カレンダー
行ってみたい都道府県
レストランでの注文</td><td>自己紹介
町の魅力紹介
夏休みの思い出</td></tr></table>・国内外の文化や他者との相互理解についての単元の合計数は、次のとおりである。
<table><tr><th>日本理解</th><th>国際理解</th><th>相互理解</th><th>合計</th></tr><tr><td>2</td><td>1</td><td>１４</td><td>１７</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・国を表す絵や写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>アジア</th><th>ヨーロッパ</th><th>オセアニア</th><th>アフリカ</th><th>北アメリカ</th><th>南アメリカ</th></tr><tr><td>１４</td><td>１４</td><td>2</td><td>6</td><td>6</td><td>4</td></tr></table>・学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。
・まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。
・児童が使用するCan-do リストは別冊『My Dictionary』に掲載されている。</td><td>・国を表す絵や写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>アジア</th><th>ヨーロッパ</th><th>オセアニア</th><th>アフリカ</th><th>北アメリカ</th><th>南アメリカ</th></tr><tr><td>２３</td><td>２７</td><td>8</td><td>１２</td><td>１２</td><td>7</td></tr></table>・学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。
・まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。
・児童が使用するCan-do リストはないが、１年間の学びを見通す頁がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・別冊『My Dictionary』には、単語３０頁、アルファベット表、フォニックス表、表現集、Can-do リストなどがある。
・巻末付録には、絵カード８頁、歌３頁、ローマ字表がある。</td><td>・巻末付録には、絵カード８頁、単語６頁、歌１頁、アルファベット表、ローマ字表、活動用シール、ワークシートなどがある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。
②造本については、どのように示されているか。</td><td>・直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。
<table><tr><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>６３</td><td>６１</td><td>１２４</td></tr></table><table><tr><th></th><th>サイズ</th><th>重さ</th></tr><tr><td>5年</td><td rowspan="2">A4判</td><td>３０１g</td></tr><tr><td>6年</td><td>３０２g</td></tr></table></td><td>・直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。
<table><tr><th>5年</th><th>6年</th><th>合計</th></tr><tr><td>５１</td><td>４３</td><td>９４</td></tr></table><table><tr><th></th><th>サイズ</th><th>重さ</th></tr><tr><td>5年</td><td rowspan="2">AB判</td><td>３１８g</td></tr><tr><td>6年</td><td>３２２g</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">教科独自</td><td>学習者用デジタル教科書における効果的な補助</td><td>①児童の興味・関心を高め、指導の効率化や言語活動の充実を図るために、音声・歌・動画やアニメーション・字幕といった機能や内容が、どのように示されているか。</td><td>・学習者用デジタル教科書に掲載されている機能や内容には、音声、歌、動画・アニメーション、拡大、書き込み、ルビ、本文・図表等の抜き出し、ドリル・ワークシートなどがある。
・音声や動画の再生速度を変更できる。</td><td>・学習者用デジタル教科書に掲載されている機能や内容には、音声、歌、動画・アニメーション、字幕、拡大、書き込み、保存、ドリル・ワークシート、録音などがある。
・音声や動画の再生速度を変更できる。</td></tr>
<tr><td>文字の指導</td><td>①音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を識別したり，書き写したりすることができるようになるための題材や活動が、どのように示されているか。</td><td>・文章を扱う（読むこと）頁数は、5年5頁、6年6頁。
・文章の題材として、『北風と太陽』『ガリバー旅行記』などの物語が取り扱われている。
・音と文字の結びつきを取り扱っている欄や頁がある。
・単元ごとに習った文型を使って英文を書く欄がある。</td><td>・文章を扱う（読むこと）頁数は、5年２頁、6年6頁。
・文章の題材として、『はしの上のおおかみ』『およげないりすさん』などが取り扱われている。
・各単元に音と文字の結びつきを取り扱っている欄がる。
・巻末に音と文字の結びつきを取り扱っている頁がある。
・単元ごとに習った文型を使って英文を書く欄がある。</td></tr>
</table>

【　外国語（英語）　】

<table>
<tr><th colspan="3">観点＼発行者</th><th>３８　光　村</th><th>６１　啓林館</th></tr>
<tr><td rowspan="8">教科共通</td><td rowspan="5">単元・題材の構成及び内容の取扱い</td><td>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</td><td>・各学年の総頁数及び単元数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>総頁数</td><td>１１０</td><td>１１０</td><td>２２０</td></tr><tr><td>単元数</td><td>８</td><td>８</td><td>１６</td></tr></table>・単元名は英語、単元目標は日本語で示されている。
・単元の初めの頁には単元目標が示されている。
・多くの単元は Story⇒ Let’s listen and point⇒ Let’s watch⇒ Let’s listen⇒ Let’s try⇒ Let’s write and read ⇒ Let’s watch and think⇒ Let’s write and speak のような順で配列されている。</td><td>・各学年の総頁数及び単元数は次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>総頁数</td><td>１３２</td><td>１３２</td><td>２６４</td></tr><tr><td>単元数</td><td>８</td><td>８</td><td>１６</td></tr></table>・単元名は英語、単元目標は日本語で示されている。
・１つの単元を３つのステップで達成するようなつくりになっている。
・多くの単元は Introduction⇒ Watch and Scene ⇒ Words and Phrases⇒ Listen and Do⇒ Activity⇒ Let’s Read and Write のような順で配列されている。</td></tr>
<tr><td>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・外国語活動接続のための頁は２頁。
・自己紹介や好きなものの紹介、数、天気など、外国語活動で学んだ表現や語彙を使って活動するつくりとなっている。
・各欄で活用を求めている技能は、次のとおりである。
<table><tr><th>欄＼技能</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>やり取り</th><th>発表</th><th>書く</th></tr><tr><td>Let’s try</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Let’s write and read</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>Let’s write and speak</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr></table></td><td>・外国語活動接続のための頁は４頁。
・自己紹介や好きなものの紹介、アルファベットやあいさつなど、外国語活動で学んだ表現や語彙を使って活動するつくりとなっている。
・各欄で活用を求めている技能は、次のとおりである。
<table><tr><th>欄＼技能</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>やり取り</th><th>発表</th><th>書く</th></tr><tr><td>Watch & Do</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>Activity</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>Let’s Read & Write</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>③思考力、判断力、表現力等をはぐくむ学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・自己表現活動で扱われているテーマ数と主な内容は、次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>５年</th><th>６年</th></tr><tr><td>テーマ数</td><td>８</td><td>８</td></tr><tr><td>主な内容</td><td>わたしの理想の時間割
できることクイズ
自分の町の魅力紹介</td><td>日本の行事紹介
動物の気持ちポスター
将来の夢宣言</td></tr></table>・国内外の文化や他者との相互理解についての単元の合計数は、次のとおりである。
<table><tr><th>日本理解</th><th>国際理解</th><th>相互理解</th><th>合計</th></tr><tr><td>１</td><td>２</td><td>１３</td><td>１６</td></tr></table></td><td>・自己表現活動で扱われているテーマ数と主な内容は、次のとおりである。
<table><tr><th></th><th>５年</th><th>６年</th></tr><tr><td>テーマ数</td><td>８</td><td>８</td></tr><tr><td>主な内容</td><td>わたしの思想の時間割
オリジナルメニューの注文
行ってみたい国の魅力</td><td>自己紹介
あこがれの人の紹介
将来の夢</td></tr></table>・国内外の文化や他者との相互理解についての単元の合計数は、次のとおりである。
<table><tr><th>日本理解</th><th>国際理解</th><th>相互理解</th><th>合計</th></tr><tr><td>１</td><td>１</td><td>１４</td><td>１６</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</td><td>・国を表す絵や写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>アジア</th><th>ヨーロッパ</th><th>オセアニア</th><th>アフリカ</th><th>北アメリカ</th><th>南アメリカ</th></tr><tr><td>３２</td><td>３７</td><td>１３</td><td>８</td><td>３６</td><td>９</td></tr></table>・学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。
・まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。
・児童が使用する Can-do リストがある。</td><td>・国を表す絵や写真の数は、次のとおりである。
<table><tr><th>アジア</th><th>ヨーロッパ</th><th>オセアニア</th><th>アフリカ</th><th>北アメリカ</th><th>南アメリカ</th></tr><tr><td>２６</td><td>３３</td><td>１４</td><td>１４</td><td>１１</td><td>９</td></tr></table>・学習の見通しをもつためのコーナーが設定されている。
・まとめ・振り返りをするための記述欄が設けられている。
・児童が使用する Can-do リストがある。</td></tr>
<tr><td>資料等</td><td>①資料・手引等は、児童の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</td><td>・別冊『Picture Dictionary』には、単語 17-18 頁、表現集がある。
・巻末付録には、絵カード８頁、ローマ字表、ワークシートがある。</td><td>・巻末付録には、絵カード１６頁、単語２２頁、歌１頁、会話フレーズ集がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">挿絵・図表・統計等</td><td>①挿絵・図表・統計等は、どのように示されているか。</td><td>・直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。
<table><tr><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>５７</td><td>５４</td><td>１１１</td></tr></table></td><td>・直接記入できる表等のある頁数は、次のとおりである。
<table><tr><th>５年</th><th>６年</th><th>合計</th></tr><tr><td>５６</td><td>５５</td><td>１１１</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>②造本については、どのように示されているか。</td><td><table><tr><th></th><th>サイズ</th><th>重さ</th></tr><tr><td>５年</td><td rowspan="2">AB 判</td><td>２８８g</td></tr><tr><td>６年</td><td>２６１g</td></tr></table></td><td><table><tr><th></th><th>サイズ</th><th>重さ</th></tr><tr><td>５年</td><td rowspan="2">A4 判</td><td>３８２g</td></tr><tr><td>６年</td><td>３６１g</td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">教科独自</td><td>学習者用デジタル教科書における効果的な補助</td><td>①児童の興味・関心を高め、指導の効率化や言語活動の充実を図るために、音声・歌・動画やアニメーション・字幕といった機能や内容が、どのように示されているか。</td><td>・学習者用デジタル教科書に掲載されている機能や内容には、音声、歌、動画・アニメーション、字幕、拡大、書き込み、保存、背景・文字色の変更・反転、ルビがある。
・音声や動画の再生速度を変更できる。</td><td>・学習者用デジタル教科書に掲載されている機能や内容には、音声、歌、動画・アニメーション、字幕、拡大、書き込み、保存、ルビ、ドリル・ワークシートなどがある。
・音声や動画の再生速度を変更できる。</td></tr>
<tr><td>文字の指導</td><td>②音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を識別したり，書き写したりすることができるようになるための題材や活動が、どのように示されているか。</td><td>・文章を扱う（読むこと）頁数は、５年３頁、６年２頁。
・文章の題材として、動物の親子についての話や民話などが取り扱われている。
・各単元に音と文字の結びつきを取り扱っている欄がある。
・巻末に音と文字の結びつきを取り扱っている頁がある。
・単元ごとに習った文型を使って英文を書く欄がある。</td><td>・文章を扱う（読むこと）頁数は、５年５頁、６年６頁。
・文章の題材として、自然や神話について取り扱われている。
・音と文字の結びつきを取り扱っている頁がある。
・単元ごとに習った文型を使って英文を書く欄がある。</td></tr>
</table>